

自昭和十八年一月
至昭和二十一年一月

第二十師團作戰經過要報

第二十師團

自昭和元年一月
至昭和三年一月



第二十師團作戰經過要報

第二十師團

第二十師団作戰經過要報目次

- 第一 師団行動經過の概要
- 第二 師団の編成裝備
- 第三 各期戦闘經過の概要
 - 其一 「ウエワク」上陸及「マダン」地区に向フ前進
 - 「フィニステル」山系突破啓開作戰
 - 神野大隊の派遣
 - 其二 「フィンシュハーヘン」附近の戦闘
 - 其三 「フィニステル」山系地区の戦闘
 - 其四 「マダン」「ハンサ」「アイタベ」地区ニ向フ転進
 - 其五 猛号作戰
 - 其六 「アレキサnder」山系地区の戦闘

別冊	第一	感状及賞詞
附表	第一	師団行動經過の概要 及之ニ伴フ給養及戦力増減一覽表
附圖	第一	第二十師団作戰經過ノ概要要図
	第二	「フィツシュハーヘン」附近戦闘經過要図
	第三	「フィニステル」山系中井支隊戦闘經過要図
	第四	猛号作戰戦闘經過要図
	第五	「アレキサンダー」山系邀激戦闘經過要図

← 添付されていません →

第一 師団行動經過ノ概要

一 師団ハ昭和十七年十二月下旬朝鮮衛成地に於テ動員編成ヲ完結シ昭和十八年一月初旬釜山出港同月下旬主力ヲ以テ「ニューギニヤ」島

「ウエワク」ニ上陸

二 二月中旬ヨリ逐次「マダン」地区前進シ九月上旬迄主トシテ「フィ

ニステル」山系突破啓開作業に任ズ

「バラオ」島に残留セル一部ハ三月乃至五月「ハンサ」に上陸シ主力

ニ追及ス

三 九月中旬師団主力ハ「フィツシュハーヘン」地区ノ警備強化ノ為前

進中敵同地ニ上陸セルヲ以テ「サテルベルグ」附近要地ヲ確保スルト

共ニ「ソング」河口附近ノ敵ヲ攻撃ス爾後逐次戦線ヲ収縮シツツ攻撃

ヲ続行シ十二月下旬「カラサ」附近ニ集結ス

此ノ間一部中井支隊ハ「フィニステル」山系南側地区ニ於テ「マーカ

ム」河上流地区ヨリ西北進スル敵ノ進攻阻止ニ任ズ

四 昭和十九年一月師団主力ハ「ナバリバ」附近ヨリ機動ヲ開始シ三月

初旬乃至四月中旬ノ間逐次「ヘンサ」地区ニ集結シ同地附近ノ整備ニ任ズ

中井支隊ヘ一月グンビ岬附近ニ上陸セル敵ニ対シ「アツサ」附近ニ於テ中野集團ノ転進掩護ニ任ジタル後三月下旬師団主力ニ追及ス

五 師団ヘ「アイタベ」地区ノ邀撃配備ノ為四月中旬ヨリ逐次西方ニ向ヒ機動中敵「アイタベ」ニ上陸セルヲ以テ五月中旬乃至六月上旬ノ間「ウラウ」及「ヤカムル」附近ニ進出セル敵ノ一部ヲ撃破シ敵ト近ク接触シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

七月中旬軍攻撃ノ主体トシテ板東川附近ノ敵ヲ攻撃ス（猛号作戦）

八月初旬攻撃ヲ中止シ「ブーツ」「ボイキン」地区ニ転進ス

六 九月上旬ヨリ昭和二十年二月初旬迄「ブーツ」「ボイキン」地区ノ邀撃準備及自活態勢ノ確保ニ努力中敵西方ヨリ逐次来攻セルヲ以テ之ノ敵ニ対シ二月中旬ヨリ五月下旬ニ亘ル間邀撃ニ任ズ

「アレキサダー」山系以南ニ配置セル一部（三宅部隊）ハ昭和二十年二月下旬ヨリ東進スル敵ノ邀撃ニ任ズ

七 昭和二十年六月初旬師団主力ヲ「アレキサダー」山系南側地区ニ転用シ三宅部隊当面ノ敵ニ対シ邀撃決戦ニ任ズ

八 八月十七日停戦命令ヲ受領シ直チニ戦闘ヲ中止シ武装ヲ解キ十月下旬「ムツシュ」島ニ集結ス

昭和二十一年一月逐次「ムツシュ」島出発同月下旬迄ニ浦賀港ニ帰還シ復員ヲ完了ス

九 第二十師団作戦経過要図 別紙ノ如シ

第二十師団機動戦闘給養及兵力変動対称表別表ノ如シ

感状及ビ賞詞 別冊ノ如シ

第二十師団ノ編成裝備（出征時）（出征時ヨリ帰還時迄ノ歴代部隊

長名（階級帰還時）

第二十師団

師団長

1 中将 青木重誠

総員

師団司令部

〃

2 〃 片桐茂

約五〇〇名

〃

3 〃 中井増太郎

獣医部ヲ含マズ

参謀長

1 大佐 中井増太郎

〃

2 〃 小野武雄

3 〃 高橋澄次

4 中佐 岩永宝

第二十歩兵団司令部

歩兵団長

1 少将 柳川真一

総員

2 〃 中井増太郎

約九五名

3 〃 三宅貞彦

聯隊長

少将 松本松次郎

歩兵第七十八聯隊

〃 林田金城

歩兵第七十九聯隊

步兵第八十聯隊		聯隊長	1	大佐	三宅貞彦
各步兵聯隊編成裝備ノ概要			2	井手篤太郎	
聯隊本部	一	各大隊本部	約一九〇名		
步兵大隊	三	步兵四ヶ中隊	約一八五名		
		機銃一ヶ小隊	約一六五名		
		大隊砲一ヶ小隊	約一二五〇名		
聯隊砲中隊	一	合計	約一四〇名		
速射砲中隊	一		約一四〇名		
通信中隊	一	五号無線器	一二八		
作業中隊	一	六号無線器	一二八		
曲射砲小隊	一	電話器	約二四〇卷		
		約二五〇名			
		i H	二		

総員

約四三二〇名
(馬匹ナシ)

衛 生 隊	野砲兵第二十六聯隊	聯隊長 1 大佐 佐伯 繩四郎	總員
	聯隊本部 一	代理少佐 生野 正道	約二五六〇名
	野砲兵大隊 三	本部三ヶ中隊約一七〇名 94-BA 二七門	出征時ノ改變ニ依リ 94-RA トシ馬匹ヲ有セズ
	聯隊段列 一		
	工兵第二十聯隊	聯隊長 大佐 小泉 義純	總員
	聯隊本部 一		約一二五〇名
	中 隊 三	約三〇〇名	
	器材小隊 一		
	輕重兵第二十聯隊	聯隊長 大佐 井場 通敏	總員
	聯隊本部 一		約一二九五名
	中 隊 四	二中 自動車編成 四二車両 約一五〇名	
		二中 輕 馬 " 馬匹ナシ 約四六〇名	
		隊長 大佐 江本 烈	

本部	一
担架中隊	三
師團通信隊	
本部	一
有線小隊	二
無線隊	一
器材班	一
兵器勤務隊	
第一野戰病院	
第二野戰病院	

約一八八名			總員		
隊長	1	少佐	森村亮一	約八一八名	總員
2	大尉	野瀬弘行	約二六〇名	總員	
約五〇名	約五〇名	線 48 卷			
約八〇名	約八〇名	甲 8			
隊長	1	大尉	宮川文二郎	約一一二名	總員
代理大尉	秋山是行	強			
院長	少佐	平賀	榮		
代理大尉	竹村	榮			
院長	1	少佐	小穴勝弘	各約二七〇名	總員
2	岡本正元				
3	江田不二夫				

第四野戰病院

師團防疫給水部

本部 一

小隊 四

資材班 一

院長 1 少佐 伊藤清次

2 " 中村 ~~三~~ 三

部長 1 少佐 西山光之丞

2 " 芦田二三男

自動車三三 濾水器甲一 乙三

丙五 約四八名

総員

約三〇六名

第三 各期戦闘經過ノ概要

其一 「ウエワク」上陸及「マダン」地区に向フ前進

「フィニステル」山系突破啓開作戦

神野大隊ノ派遣

一 師団ハ昭和十八年一月七日乃至九日第一船団ヲ以テ又十日乃至十三

日第二船団ヲ以テ夫々釜山港ヨリ出港シ第一船団ハ一月十九日乃至二

十二日「ニューギニヤ」島「ウエワク」ニ上陸ス 第二船団ハ「バラ

オ」島ニ上陸シ爾後戰鬥訓練ニ邁進シツツ待機ス

第一船団乗船部隊（兵力計約七〇〇名）左ノ如シ

主力 ~~XX~~ 79i 主力 80i 主力 26A 主力 DTL 主力 20P 主力 BO 主力

第二船団乗船部隊（兵力計約一二〇〇名）左ノ如シ

主力 78i 79i 一部 80i 一部 26A 一部 20P 一部 20T 20S DTL 一部 2FL 4FL Hei BO 一部

二 師団主力ハ「ウエワク」ニ上陸スルヤ直チニ該地区ノ防衛 飛行場

ノ拡張作業及兵要地誌調査ニ任ス

二月中旬第四十一師団ノ上陸ヲ掩護シタル後該師団ニ任務ヲ申送り
「マダン」地区ニ向フ前進ヲ準備ス

二月十日ヨリ船艇（一艇隊四 五隻搭載人員計約二〇〇〜二五〇）輸
送ヲ以テ爾後更ニ海「トラ」輸送及陸路行軍（但シ「セビツク」河及
「ラム」河々口海上ハ舟艇ヲ以テ輸送）ヲ併用シ四月中旬迄ニ「マダ
ン」地区ニ集結ヲ完了ス

航行及行軍ハ未知未慣ノ水路地形ニシテ部隊ノ勞苦ハ甚大ナリ

師団ハ一部ヲ以テ「マダン」地区ノ警備及飛行場ノ整備作業ニ歩兵
団長ノ指揮スル主力ヲ以テ「フィニステル」山系突破啓開ノ為自動車
道構築及橋梁ノ架設ニ任ズ

啓開作業に任セル部隊左ノ如シ

☆
20 P
I/79i
II/80i
20 T
2 FL
4 FL
指揮下
4 PB
33 PS
37 PS
36 DO
44 DO
花輪支隊
(I/42i)

作業部隊ハ給養ノ不十分及資材ノ不足（伐開掘搬送機関）ニ屈セズ努

カセルモ降雨ニ依ル道路ノ泥濘化崩壊架橋ノ流失補給ノ不円滑「マラ
リヤ」ノ逐次発生特ニ六月頃以降ニ於ケル敵機ノ妨害ニ依リ工事予期
ノ如ク進捗セズ六月下旬南山岑ニ於テ「フィニステル」山系ノ背稜ヲ
突破シ八月下旬「マダン」ー「ヨコビ」間約八十六軒ヲ完成セリ

四 道路構築ノ進展ニ伴ヒ歩八〇第五中隊ヲ「グルンボ」附近ニ派遣シ

「ラム」河上流地区ノ又歩七九第十二中隊ヲ「クラウ」附近ニ配置シ
「カイナンツ」「ベナベナ」ニ対スル攻撃ノ為兵要地誌調査及情報収
集ニ任ゼシム

五 師団司令部ハ「ウエワク」ヨリ四月三日「アメレー」ニ前進シ更ニ

七月十六日「クワトウ」ニ前進ス

「クワトウ」ニ於テハ特ニ「ベナベナ」地区攻略ノ為ノ戦斗指導ニ関
シ研究準備ス

「ラム」河「ベナベナ」「ハーゲン」地方ノ総合情報左ノ如シ

(一) 「ベナベナ」「ハーゲン」対空敵兵力ハ二、三大隊ニシテ其ノ配

置左ノ如シ

「ハーゲン」附近．．．約半大隊

「ブンヂイ」〃．．．半中隊

「テンプ」．．．一中隊

「ハサウ」(ベナベナ北方二〇軒)．．．半中隊

「ベナベナ」附近．．．一大隊

「レボナ」(「カインアンワ」北方三〇軒「ラム」河左岸)．．．一中隊

「カインアンツ」附近．．．約一中隊半

(二) 「クミヤン」(「カインアンツ」北々東一五軒)ニ敵兵約二〇

無線機一

(三) 「ラム」河左岸 敵監視部隊拠点へ「レボナ」「ハサウ」「ブン

ジ」ニシテ何レモ「ラム」河ヨリ「カインアンツ」「ベナベナ」「チンプ」ニ到

ル主要ナル道路ヲ扼ス

(四) 「ラム」河々谷ハ七月二十日頃ヨリホトンド連日降雨アリ目下稍

増水シ流木多ク徒渉稍、困難ナリ

「ケセワ」(コロバ)東方八紵)附近ヨリ「トンプ」東方一五紵ニ
亘ル間二九ヶ所ノ徒渉場アリ

七月中旬頃其大部へ水深一、五米流速二、三米ナリ

(五) 「ケセワ」附近ヨリ上流「ラム」河右岸へ身長大ナル萱密生セル

草原地帯ナルモ処々疎林竝椰子林アリ小部隊ヲ秘匿シ得

(六) 「ビスマーク」山系へ払曉時雲霧ナリ

八時頃ハ山頂ニ雲発生シ十二時五合目迄迫リ爾後降雨トナル

夜間ハ五合目以上へ雲ニ蔽ヘル

「ボンボ」(「トンプ」東方十紵)対岸地帯へ通常一五〇〇—一八

〇〇ノ間雷雨アリ

(七) 「ラム」河右岸草原地帯ニ「マラリア」蚊「ブト」赤虫等多ク亦

虫ハ大キサ蛋ノ約四分ノ一「ブト」ノ如ク痒シ

「スナウラ」「コロバ」及其西北方ニハ山蛭アリ

(ハ) 「ラム」河右岸地区ノ土民ハ概ネ我ニ好意ヲ有ス

六 師団長青木中将ハ六月二十九日マラリアノ為「アメレー」師団司令
部ニ於テ陣没シ其後任トシテ七月初旬片桐中将着任ス

七 神野大隊ノ「ラエ」「サラモア」地区派遣

「ラエ」「サラモア」地区ノ戦況逼迫ニ伴ヒ師団ハ歩八〇第八〇第一

大隊長神野大尉(音市)ノ指揮スル

I/80i
7/26A
戦敗

Iヲ以テ「神野部隊」ヲ

編成シ五月三十一日ヨリ逐次舟艇ニ依リマダン

シオIフインシヲ経テ「ラエ」ニ派遣シ第五十一師団長ノ指揮下ニ入

ラシム

(参考)

1 神野大隊ハ「ラエ」「サラモア」地区ノ武勲拔群ナルニ依リ軍司令

官ヨリ感状ヲ授与セラル

2 神野大隊ノ海上機動ハ機動拠点ノ設定十分ナラザルト波浪ノ高荒ニ

依リ労苦極メテ大ナルモノアリシモ輸送ニ任ジタル船舶工兵第五聯隊

將兵ノ努力竝大隊長ノ指揮掌握宜シキヲ得テ無事「ラエ」ニ到着セリ

其二 「フインシュハーヘン」附近ノ戦斗

（自昭和十八年九月初旬
至昭和十八年十二月下旬）

一 全般ノ状況

1 「ラエ」「サラモア」地区

第五十一師団ハ「ラエ」「サラモア」地区ヲ確保シアリテ「サラモ

ア」地区ニ於テ激戦中ナリ 八月下旬ニ至ルヤ「サラモア」地区ニ対

スル敵ノ海上輸送頓ニ増加シ九月初旬以降同方面ノ作戦ハ相当困難ナ

ル状況ニ立チ至ルモノト判断セラル

軍ハ「ラエ」地区ニ兵力ヲ増加シ配備ヲ強化中

2 「ダンピール」地区

第一船舶団長ハ約二〇〇〇ノ部隊（混成ニシテ裝備不完全海軍部隊ヲ含ム）ヲ以テ「フィッツユハーヘン」及其南方海岸地帯ノ警備ニ任ジアリ

3 師団ハ二月以降「フィニステル」山系突破啓開作業ヲ銳意続行中ニシテ九月初旬概ネ「ヨコビ」迄自動車道ヲ完成スル予定ナルモ「カイアビット」附近迄ノ完成ハ本年末頃トナル見込ナリ

4 空中勢力ハ逐次敵優勢トナリ昼間行動ハ益々困難トナリアリ
「フィツユ」附近以南海上ハ敵魚雷艇跳梁シアリ

二 「フィインシ」地区敵上陸前ノ状況（自八月中旬至九月二十一日）

1 「フィインシユハーヘン」地区ハ第一船舶団長山田少將指揮ノ下歩二三八第一大隊主力及第二大隊ノ一部其他若干ノ重火器部隊並海軍部隊（約三〇〇）ヲ以テ夫々「モンギ」河右岸「ロンガエン」高地「フィインシユハーヘン」「アント」岬附近ヲ夫々警備シアリ

歩八〇「フインシ」地区へノ前進

師団ハ「フインシユハーヘン」地区配備強化ノ為軍命令ニ基キ八月
中旬歩八〇ヲ該地区ニ派遣スル如ク処置ス

行軍経路ノ状況

「ボガジム」―「フインシ」間海岸道全距離三五七軒

河川 数 四〇三 渡河ノ為折疊舟ヲ要スル

河川 二〇本

前進要領左ノ如シ

(一) 兵力

歩八〇（聯隊長三宅大佐第一大隊第五中隊作業隊欠）

野砲二六第三大隊（第七中隊欠）

師通 無線二分隊

一野病半部

(二) 部隊前進要領

(1) 聯隊長以下二〇〇名ハ軍旗ヲ捧持シ八月二十日夕「エリマ」発

舟艇ニ依リ概ネ八月二十六日「フインシ」着ノ予定

(2) 陸路行軍部隊（第二第三大隊長以下二三五〇名）

(イ) 五梯隊ニ編成 八月十五日乃至二十二日ノ間夫々「ボガジム」

出発

「フインシ」地区集結完了ハ概ネ九月中旬末トナル見込

(ロ) 一日平均行軍距離一五軒 所要日数二十五日

(3) 舟艇機動部隊（火炮及隊属貨物及指揮機関ノ一部）

配属大発三隻ヲ以テ「マダン」ヨリ前進

3 師団主力ノ「フインシ」地区ヘノ前進

(ハ) 九月四日軍ハ「ラエ」地区ノ戦況益々 迫セルニ鑑ミ爾後ノ確保

ノ重点ヲ「フインシ」地区トシ師団ノ主力（歩五大砲三大基幹）ヲ

「フインシ」地区ニ転用スルニ決ス

別ニ歩兵団長中井少将ノ指揮スル中井支隊（歩三大砲一大基幹）ヲ

以テ「フィニステル」山系南側地区ニ於テ牽制作戦ヲ実施ス

(二)

師団ハ直チニ啓開作業ヲ中止シ縦長ニ散在セル兵力ヲ集結シ部隊ヲ十八梯団ニ区分シテ「ボガジム」ヨリ海岸道ヲ「フィインシ」ニ向ヒ九月十日ヨリ各梯団引続キ機動ヲ開始ス

重火器及隊属貨物ノ大部ハ舟艇ニ依リ輸送ス

部隊ノ前進ニ先ダチ機動路上約三、五日行程毎ニ師団自力ヲ以テ新タニ拠点ヲ設定シ通信、補給及患者収療並舟艇達着秘匿ノ為ノ所要機関ヲ急拠配置シ尙「エリマ」ニ後方主任参謀ヲ配置シテ出発及送ヲ規整シ以テ機動ノ万全ヲ期ス

(三)

「フィインシ」地区進出後ニ於ケル師団ノ作战指導腹案ノ概要

(1) 方針

師団ハ速カニ分離シアル戦力ヲ統合シ「ランジマーク」灣ヲ核心トスル地区及「サテンベルグ」附近ノ要地ヲ堅固ニ保持シ有力ナル部隊ヲ控置シテ自主積極且執強ナル作战指導ニ依リ「クレチ

ン」岬ヨリ「サテンベルグ」附近ヲ經テ「アント」岬ニ亘ル要域ヲ確保ス

(2) 要領

イ 「フィンシ」地区ハ依然歩八〇確保ス
ロ 師団主力ノ進出ニ伴ヒ「ジョアングン」東側地区ヲ特ニ増強ス

ハ 師団主力ヲ「サテンベルグ」西側地区竝「カラサ」南側地区ニ配置（約三大隊）シ隨時攻勢的ニ使用ス

ニ 「フィンシ」地区ノ障地ヲ強化ス

ホ 控置部隊ノ機動及陸上補給ノ為必要ナル作戰路ヲ啓開ス

(3) 師団長ハ九月二十日頃「フィンシ」ニ到着ノ予定師団主力ノ

「フィンシ」地区到着ハ十月十日頃ヨリ月末ニ亘ル予定

4 九月中旬ニ於ケル「フィンシ」地区ノ配備ノ概要

(一) 兵力

歩八〇主力(二大)野二六ノ一大 歩二三八ノ約一大 其他

合計約四〇〇〇

(二) 配置

(1) 「モンギー」河口方面歩兵約三中隊基幹

(2) 「アント」岬(「フィンシ」北方約一〇軒)歩八〇ノ九中

MG 一小 TA 一小 P 一分 無線一分

(3) 「ジョアングン」(「フィンシ」西方約三〇軒)附近約一中隊

(4) 爾後ノ主力「ロンガエン」(「フィンシ」南方約一〇軒)附近其一部ハ「ブブイ」附近ニアリ

(5) 「フィンシ」ニハ海軍約五〇〇

(三) 「フィンシ」附近糧秣保有高四〇〇〇名ニ対シ十日分

5 師団ノ機動ハ海岸道ノ難路急流ヲ突破シ概ネ順調ニ実施セラレ第一

梯団ハ九月二十一日「ガリ」附近ニ進出ス

師団長ハ舟艇ニ依リ二十一日「ガリ」ニ到着セリ

三 敵ノ上陸及第一期作戰

(自九月三十一日
至十月三十一日)

1 敵ハ九月二十二日早朝ヨリ「アント」岬附近ニ強行上陸ヲ開始ス

二十二日〇八〇〇軍偵察機ノ偵察ノ結果ニ依レバ

「アント」岬附近ニ巡洋艦四 駆逐艦六 大型輸送船三 在リ

陸上ニハ既ニ高射砲障地占領シアリト

歩兵ハ少クモ五〇〇ヲ下ラザルモノノ如ク戦車及砲十數門ヲ有ス

2 二十二日軍ハ上陸中ノ敵ヲ撃滅スル為在「フインシ」部隊ヲシテ直

チニ当面ノ敵ヲ攻撃セシムルト共ニ師団ノ前進ヲ促進ス

師団ハ一部舟艇運送ヲ変更シ舟艇ノ強行輸送ヲ敢行スルト共ニ陸路行

軍部隊ノ追及促進ニ努ム

3 「アント」岬警備隊ハ二十二日朝来上陸セル敵ト交戦中ニシテ同日

夕迄ニ敵ニ与ヘタル損害死傷二〇〇 我損害約五〇

歩八〇(在ロガエン)ハ先ヅ先遣隊(高木中佐以下歩兵三中隊 MG中隊)

ヲ二十二日夕「ロガニン」高地ヨリ「サテンベルグ」高地ハ爾後サ高

地ト略称スニ向ヒ反転急進セシム該部隊ハ二十四日一時次テ歩八〇本部及第一船舶団主力一四〇〇夫々「サ」高地ニ到着ス

二十四日海軍警備隊ハ「ブミ」河左岸ニ逐次増加スル約五〇〇砲十數門ヲ有スル敵ニ対シ全力ヲ第一線ニ混入激戰中

4 二十五日師団ハ駐ニ到着セル歩七九第二大隊長ノ指揮スル歩兵三中队機関銃三小队砲兵一中隊計七百名ヲ「カラサ」「ケラノア」附近ニ配置シ主力ノ集結ヲ掩護セシム 二十七日歩七九長ノ指揮スル歩兵ニ中队半作業小队工兵中队計八〇〇名ハ「シオ」附近ニ進出ス

5 二十七日高木大隊(III/80i)ハ「ジベバネン」附近ノ敵警戒部隊ヲ駆逐後敵主力ノ背後ニ殺到シ夜ニ入ルモ攻撃ヲ經行ス

「モンビー」支隊主力(II/80i)ハ二十七日夕「サ」高地ニ到着爾後「アント」岬方向ニ転進ス

6 三十日高木大隊(III/80i)ハ「ヘルズバ」ノ敵ニ対シ攻撃前進ヲ開始ス当面ノ敵主力ハ重点ヲ当初海軍障地ニ指向シ南面シテ攻撃中ナリシモ

二十七日以降同大隊ノ側背攻撃ニ対シ反転西面シテ大隊及「アント」岬警備隊正面ニ向ヒタリ 敵ハ「アインシ」飛行場ノ整備ヲ開始ス

7 三十日迄ニ「シオ」附近ニ集結セル師団ノ兵力左ノ如シ

歩七九本部 同第二大隊本部 歩兵七中隊機関銃四小隊 作業小隊 速射砲一小隊 砲兵二中隊 工兵二中隊 独工一中隊 衛生隊及野戦病

院 各一部 総計 二三五四

師団ハ上陸セル敵ノ備全カラザルニ乗ジ之ヲ攻撃スル目的ヲ以テ一部ヲ以テ「アント」岬附近ニ対シ舟艇ニ依ル突入ヲ準備シ主力ヲ以テ陸路「サ」高地ニ向ヒ急進スルニ決シ後方補給ノ不充分ヲ顧ミズ前進ス 第一船舶団ハ師団ノ指揮下ニ入ラシメラル

8 十月二日第一船舶団ノ報告ニ依レバ

(一) 「ヘルズバ」附近及ソング河口ニハ高射砲二十数門

(二) 海岸方面ニハ重砲四迫撃砲一二兵力一〇〇〇ニシテ二十七日以降行動不活潑

(三) 「ヂババネン」ニハ一五〇ノ敵堅固ニ陣地ヲ占領シアリ

(四) 「ロ」高地附近ニハ敵ヲ見ズ

9 四日第一船舶団方面ノ状況

(一) 敵機ハ「フィツユ」飛行場ノ使用ヲ開始ス

(二) 高木大隊正面ノ敵ハ約一大隊ハ判断

(三) 葛蒲大隊(Ⅲ⁸⁰¹)ハ「アント」西方附近要点ヲ確保シ敵情地形ヲ搜

索中

(四) 糧秣ハ七日迄保有シアリ十月一日以降一日平均六勺ニシテ現地ノ

芋等ヲ併用シ極力喰ヒ延バシオ策シアルモ芋モホトンド尽キントス

ル状況ナリ

10 歩八〇第十中隊ハ五日タ「クワマ」ニ進入セル敵約五〇ヲ撃退シ引

続キ其東方高地ノ敵ニ対シ攻撃ス

六日タアント警備隊中村小隊ハ「ヘルズバ」附近ノ敵後方ニ挺進突入

シ敵部隊ヲ攪乱ス

葛蒲大隊ハ三日以降「ソング」河左岸ノ敵ヲ攻撃シ六日同河右岸ニ撃退シ引続キ左岸ノ要線ヲ確保シテ敵情地形ヲ搜索中

11

七日夕師団作戰主任參謀高橋中佐ハ「サ」高地ニ又師団先遣隊
II⁹ⁱ主力ハ「ボリンバンゲン」ニ夫々到着ス

12

十日ノ状況

(一)

高木大隊ハ九日以降攻撃シ来ル優勢ナル敵ト交戦中

(二)

「フィツユ」「アント」間ハ敵ノ魚雷艇及大発数隻盛ンニ往復シ
アリ

(三)

九日朝来敵機ハ間断ナク戦場上空ヲ哨戒シ我第一線ニ対スル銃爆撃亦盛ナリ

13

十一日朝師団戰鬥指令所ハ「サ」高地ニ到着ス

同時掌握シアル兵力歩兵三中隊別ニ「ワレオ」ニ三中隊進出シ追及

中

14

十三日ノ状況

(一) 「クワマ」西方高地ヲ占領シアル歩八〇第十中隊ニ対シ十三日払

曉砲兵及迫撃砲集中射撃ノ下ニ敵約五、六〇〇攻撃シ来ルモ撃退ス

(二) 「シシ」東方ニ在ル高木大隊正面ノ敵ハ五、六〇〇ニシテ目下近

ク我ト相對峙シ交戦中

(三) 師団ハ爾後ノ攻撃計画ヲ左ノ如ク定ム

(1) 敵情総合判断

敵陣地ハ「アント」岬附近ヨリ「ソング」河口右岸ニ亘ル間及

飛行場附近ヨリ「ヘルズバ」附近ニ亘ル間ノ二拠点ヨリ成り別ニ

「フインシ」附近ニハ逐次兵力ヲ転用シツツアルモノノ如シ

又少クモ歩兵一大隊ヲ下ラザル敵ハ「サ」高地、「シシ」一「ヘ

ルズバ」道及「クワマ」「ヘルズバ」道ヲ前進シ目下我ト交戦中

(2) 攻撃計画ノ大要

(イ) 師団ハ一部ヲ以テ「ジベバネン」ノ敵次デ主力ヲ以テ「アン

ト」岬以北ノ敵ヲ急襲撃滅ス

(四) 部署ノ大要

1 山田部隊（第一船舶団長ノ指揮スル歩八〇主力）ハ一部ヲ以テ「クワマ」附近ヲ確保シテ師団攻撃ノ拠点タラシムルト共ニ爾余ノ主力ヲ以テ十六日夜「ジベバネン」ノ敵ヲ背後ヨリ西面シテ急襲ス

2 歩七九ハ十六日薄暮「アント」岬附近ノ敵ヲ側背ヨリ北面シテ急襲ス

3 十六日十四時以降牽制ノ目的ヲ以テ野砲兵中隊（一門）

「ボンガ」附近ニ於テ「ソング」河附近ノ敵ヲ射撃ス

4 舟艇突入隊ハ十七日二時「ソング」河南岸ニ突入シ歩七九

ニ協力ス

5 師団戦斗司令所ハ「サ」高地東側ニ位置ス

15 十六日師団ハ予定ノ如ク三宅部隊（歩八〇）三ヶ中隊ヲ以テ攻撃前進ヲ開始シ四時「ジベバネン」東北方敵陣地（椰子高地ト称ス）ニ

突入シ五時其一角ヲ奪取シ戦果ヲ拡張ス

歩七九(一大隊半)ハ一部ヲ以テ「アント」岬西北方一軒ノ高地ニ対

シ又主力ヲ以テ同高地北方ノ敵ニ対シ攻撃ヲ準備中

終ヘ末々全般ニ我カ企画ヲ察知シアラサルカ如ク高木大隊(III⁶⁰¹)正面

「ジベバネン」ノ敵情ニハ大ナル変化ナシ

師団戦斗司令所ヲ更ニ「サ」高地東端ニ又情報所ヲ「アント」岬西方

約二〇軒ノ地点ニ推進ス

山田部隊正面ハ僅少兵力(約一五〇)ヲ以テ広正面ヲ担任シ「サ」

高地西南方約五軒附近ニ進出セル敵ト対峙シ偽炊煙等ヲ以テ師団攻撃

ノ陽動ニ任ジ敵砲火ヲ吸収シテ相当ノ成果ヲ挙げツアリ

三宅部隊ハ十六日夜夜間攻撃ヲ実施セシモ奏功セズ十七日夜再行ス

当面ノ敵兵力ハ約一〇〇ニシテ竹林ヲ利用堅固ニ陣地ヲ占領シアリ

林田部隊ハ十六日夕攻撃前進ヲ開始セルモ地形錯雜ニシテ敵ノ主陣地

ニ突入スルニ至ラズ

航空部隊「ヘルズバ」「アント」附近ノ砲兵陣地ヲ爆撃シ相当ノ効果
アリタルモノノ如シ

17

十七日〇二三〇舟艇突入隊（歩七九第十中隊長杉野中尉ノ指揮スル
一五五名）ハ猛烈ナル銃砲火ヲ冒シ「ソング」河口南岸ニ突入随所ニ
肉薄潜入攻撃ヲ敢行シ左ノ戦果ヲ収メタリ

高射砲爆破三 野砲爆破四 彈藥集積所爆破二 機関銃二 機関砲二
輕機八 自動小銃二〇 遺棄死体四三〇

舟艇突入隊ハ武功拔群ニシテ軍司令官ヨリ感状ヲ授与セラル

林田部隊（79i）ハ右第一線（半大隊）ヲ以テ十七日二十時「カテカ」

ノ敵陣地ヲ奪取「アント」「ソング」河附近ノ敵拠点ト「ヘルズバ」

「フィンシ」飛行場附近ノ拠点ヲ分断スルト共ニ左第一線（三ヶ中隊）

ヲ以テ京北面シテ「ソング」河口南側ノ敵ヲ攻撃ス

「カテカ」攻撃ニ任ジタル歩七九中隊（中隊長甲谷中尉）ハ成功拔群
ニシテ軍司令官ヨリ感状ヲ授与セラル

1.8 十八日十五時以降「アント」以北ノ敵主力ハ我部隊ノ猛攻ノ為遂ニ

海岸道及舟艇ニ依リ南方ニ向ヒ潰走状態ヲ以テ退却ヲ開始セリ

林田部隊ハ全力ヲ以テ敵ヲ海岸ニ圧迫中ニシテ其一部ハ糧秣及衛生材料ヲ滿載セル自動車四輛ノ外兵器彈藥多数ヲ齒獲セリ

1.9 二十日林田部隊ハ主力ヲ以テ「アント」岬北岸「ジャングル」門ニ

於テ混戦乱斗中ニシテ敵ハ催涙ガスヲ使用セルモノノ如ク我第一線ノ

圧迫情ヲ顧坐ス

敵ノ一退却セルモ再ビ舟艇ニ依リ「アント」岬附近ニ兵力ヲ増強シ

頑強ニ抵抗シアリ

十二日以来二十一日迄ノ戦果

遺棄死体相当多数アルコト確實ナルモ調査中

齒獲品(破綻ヲ含ム)

火炮五 自動小銃五三 自動貨車一〇 小銃五二三 小銃彈一七五〇〇

糧秣 衛生材料若干

我損害 戦死三〇六 戦傷三五四

20 二十三日敵へ一般ニ末ダ受動ノ態勢ニアルモ逐次「カテカ」及「ソング」

河口ニ兵力ヲ増強シ師団主力ニ対シ逐次反撃行動ニ出ツツアリテ「カテカ」周辺第一線へ昼夜奮戦ヲ継続シアリ

林田部隊ハ二十三日二時ヨリ「カテカ」西方地区ニ反転既設陣地ニ拠レル敵ノ第一線ヲ突破シ相当ノ戦果ヲ収メタルモ末ダ敵ヲ撃滅スルニ至ラズ引続キ攻撃ヲ続行ス

山田、三宅部隊ハ少クモ三〇〇ヲ下ラザル敵ヲ抑留シ攻撃ノ目的ヲ以テ当面ノ敵情地形ヲ更ニ偵察中部隊ハ幹部ノ損耗多キモ志気極メテ旺盛ニシテ糧秣既ニ尽キタルモ現地ノ芋ニ依リ戦力ヲ保持シツツアリ

21 二十五日師団ハ部隊ヲ整理シ第二次攻撃ヲ準備スルニ決ス

林田部隊ハ二十五日十七時行動ヲ開始シ夜暗ヲ利用シ二十六日七時「サ」高地東側ニ集結ヲ完了ス

林田部隊転進ニ伴ヒ「カテカ」方面ニ対シテハ内田大隊（Ⅲ/29i）ヲ以テ「サ」高地「カテカ」道上「カテカ」西方約二軒ノ要線及「ソング」河右岸ノ稜線ヲ占領セシメ当面ノ敵情ヲ搜索中敵ハ追尾シアラズ三宅部隊及山田部隊ハ依然従来ノ戦ニ於テ特ニ敵ノ後方動静ヲ搜索スルト共ニ背後攪乱ニ努ム 二十六日早朝三宅部隊ハ敵ノ一部陣前ニ近接シ工事中ナルヲ以テ直チニ之ヲ攻撃シ撃退ス

22 二十七日師団ハ「ジベバネン」附近ノ敵攻撃ノ為三十日四時迄ニ林田部隊ノ一部ヲ以テ三宅部隊ノ一部ト交代セシメ三宅部隊ヲ以テ「シ」方面ヨリ林田部隊ヲ以テ北方ヨリ夫々当面ノ敵情地形ヲ搜索セシム

23 二十八日敵情大ナル変化ナク 九時頃三宅部隊左翼方面ニ敵ノ一部前進シ来ルモ撃退ス

新タニ師団ノ指揮下ニ入りタル田代大隊（Ⅲ/238i 約一五〇名 MG 二 BiA 一）ハ「ボング」附近ニ位置シ「ソング」河北岸ノ敵情ヲ搜索ス

独工三三ノ一小隊ニ依リ長途錯雑急峻ナル地形ヲ經初メテ精米二十梱
味噌一梱ヲ第一線ニ補給シ得タリ
尙二十六日迄ニ「サ」高地附近ニ於テ空中補給（三砲）ヲ受ケタルモ
按下地点散在シ発見容易ナラズ且地形錯雑ノ為正午迄ニ収得セルハ僅
カ六梱ナリ

十六日攻撃開始以降二十九日迄ニ判明セル戦果

(一) 遺棄死体 二六四八

(二) 主ナル撃破

高射砲三 野砲四 機關砲二 機關銃三 輕機八 自動小銃二〇

小銃四〇〇 自動車一 牽引車一 集積糧秣三 集積彈藥二

(三) 齒變品

小銃一二五 自動小銃七五 機關砲六 拳銃二〇 擲彈筒八

電話機一四 無線機九二

小銃彈藥二〇〇〇〇 自動小銃彈七七四九〇 機關銃彈三七一〇〇

迫撃砲彈五六七 手榴彈二一五四

(四) 我カ損害

戦死四二二(内將校二二 下士官六三)

戦傷六六二(内將校三七 下士官一〇三)

林田、三宅兩部隊共中隊人員平均五〇名トナレリ

25

林田、三宅部隊ノ戦線交代ハ予定ノ如ク三十日四時敵ニ察知セラル
ルコトナク完了ス

当面ノ敵ノ動向其後大ナル変化ナキモ「ジバネン」及「ベルズバ」
ニハ迫撃砲ヲ有スル相当有力ナル部隊集結シアリ 戦車ヲ有スルモノ
ノ如シ

敵約二〇〇ハ三十日夜椰子高地東側ニ集襲セルモ林田部隊第一大隊之
ヲ攻撃三十一日正午還退ス 敵遺棄死体約三〇

四 第二期作戰（自十一月三十一日）

1 当面ノ敵ハ濠州第九師団及第二十歩兵旅団及工兵旅団等ナルモ同師団從來ノ損耗ニ依リ其ノ戦力概ネ半減セルモノト認メラルヲ以テ現在当面ノ敵戦力ハ概ネ一師団未滿ト判断セラレ「ソング」河北岸ヨリ「ジベバネン」「クワマ」ヲ経テ「ロ」高地ニ到ル十數軒ノ正面ヲ以テ我ニ対峙シアリ

師団ハ極度ノ食糧不足連續ノ戦斗ニ依ル兵力ノ損耗ト加フルニ連日ノ冷雨ニ依リ現況ニ於テハ一挙ニ「フィツシ」地区奪回ハ困難ナルヲ以テ逐次ニ敵陣地ヲ分割奪取スルノ方針ニ依リ爾後ノ戦斗ヲ指導スルニ決ス

2 師団攻撃部署ノ大要

(一) 歩八〇第一大隊主力ヲ「カノミ」一部ヲ「ラコナ」ニ配置シ敵ノ上陸ニ対シ攻撃ノ拠点タラシム

(二) 歩七九第二大隊主力ヲ「ボンガ」西北地区ニ集結シ敵ノ上陸ニ対シ

即時攻撃セシム

(三) 歩八〇ヲ基幹トスル部隊ヲ以テ「サ」高地ヲ堅固ニ占領ス

(四) 歩七九主力ハ逐次「ノンガカコ」附近ニ転進ス

(五) 右部署ノ完了ハ概ネ十一月十五日頃ト予定ス

3 十一月六日

(一) 敵情全般のニ活潑ナラズ「ヘルズバ」「アント」岬附近ノ砲兵ハ「サ」

高地周辺「ソング河」上流地点ニ対シ連日平均一〇〇発ノ砲撃ヲ実施ス

ス

「フィンシ」港ニ対シテハ毎日舟艇平均約三〇隻南方ヨリ入港シアリ

敵ノ魚雷艇ハ毎日夕刻ヨリ翌黎明ニカケ二、四隻ヲ以テ「フィンシ」

港ヨリ出港シ我舟艇機動及輸送ヲ妨害シアリ

(二) 歩七九ハ六日二十四時「サ」高地ヲ出発シ「ノンガカコ」附近ニ機

動ヲ開始ス

(三) 歩八〇ノ「サ」高地確保ノ為ノ陣地占領ハ概ネ順調ニ進捗中

(四) 師団戦闘司令所ハ十日「サ」高地ヨリ「ノンガカコ」附近ニ前進ス
ル予定

(五) 十月二十七日以降連日降雨ノ為道路全ク靴ヲ没スル泥濘ト化シ急坂
ハ滑転シ部隊ノ行動極メテ難渋シアリ

(六) 糧秣ハ坦送力不足ノ為補給辛フジテ日量ヲ定量ヲ保持シアル程度ナ
リ

(七) 「ノンガカコ」附近ニハBA弾薬一三五(94)七八(41)歩兵砲弾薬
三六曲射砲弾薬一〇二爆薬四三六匁ヲ集積セリ

4 八日敵情大ナル変化ナシ

朝来約五〇ノ敵二回ニ亙リ「ジベバネン」ヨリ高木大隊正面ニ攻撃シ
来ルモ撃退ス

「フィンシ」港ニ対スル舟艇入港数漸増シ五四隻ニ達ス

林田部隊ハ八日朝敵ニ察知セララルコトナク「ノンガカコ」西側ニ転進
ス

第一船舶団長ハ九日十二時ヲ以テ其ノ戰鬥地区及指揮下ニ在ル部隊ノ大部ヲ三宅部隊ニ引継ギ船舶司令部独工三〇及ビ独工三六ノ各一部其他計二〇〇ヲ指揮シ山地道ヲ「ナバリバ」ニ転進ス

5 十日師団ハ主力ヲ以テ「ソング」河口附近ノ敵ニ対シ二十三日乃至二十五日攻撃ヲ開始スル企図ヲ以テ之ガ攻撃ヲ準備スルト共ニ第一線附近ニ在ル患者（担送一二〇）ヲ後送シ且糧秣彈藥及作戰資材（所要輸送兵力約五五〇）ヲ十一日以降二十日迄ニ「ワレオ」附近ニ前送集積スルニ決シ夫々部署ス

十二日「フィンシ」ニ入港セル満載敵舟艇計七一隻

十五日「フィンシ」及「ランゲマーク」ニ入港セル輸送船三満載艇合計

二二駆逐艦四

6 十六日敵戦爆連合三六機ハ七時ヨリ八時三十分ノ間「サ」高地「ソング」河兩岸「ラコナ」「カノミ」附近ニ対シ銃爆撃ス夜間ノ哨戒益々嚴重トナル

三宅部隊正面ノ敵ハ十二日以降逐次活氣ヲ呈シ特ニ「クワマ」正面ニ於テハ我警戒陣地ニ対シ約七〇〇発ノ集中砲撃ヲ実施ス

7 十八日三宅部隊正面ノ敵ハ十六日以来本格的に攻撃ヲ開始シ基重点ハ「ヘルズバ」―「サ」高地ニ沿フ地区ニシテ戦車ヲ有スル約三大隊ハ同方面ニ近迫シアリ

三宅部隊ハ奪戦中ニシテ局所ニ白兵戦ヲ惹起シ敢斗克ク陣地ヲ確保シアリ糧秣ハ「ラコナ」ヨリ第一線兵力ヲ以テスル緊急輸送ニ依リ現在保有高各人四食分現地物資逐次枯渴シ二日行程以内ニ於テハ殆ンド収集シ得ス

8 師団第二次攻撃計画（十一月十八日）

（一）方針

師団ハ「サ」高地ヲ確保シツツ主力ヲ以テ攻撃ノ重点ヲ「ソング」

河北岸ニ沿フ地区ニ指向シ該河以北ノ敵ヲ河口ニ於テ捕捉殲滅ス

（二）攻撃部署ノ大綱

- (1) 三宅部隊 (I^{1/80i} 主力ヲ復帰ス) ハ「サ」高地ヲ守備ス
- (2) 林田部隊 (歩七九 (Ⅱ 主力欠) 工二〇 (一中欠)) ハ二十四日一時迄ニ「ソング」河北岸ニ東面シテ攻撃準備ヲ完了シ黎明時突入一
- 挙「ソング」河北方ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮断ス
- (3) 左側支隊 (I^{1/238i} 主力) 一少^{33ps} 属) ハ二十四日一時迄ニ「ソング」北方ニ
- 杆ノ敵陣地至近距離ニ攻撃準備ヲ完了黎明時突入海岸道ニ沿フ地区
- ヲ「ソング」河口ニ突進ス
- (4) 砲兵隊 (2^{6A} (I 78 欠) 24M (一中)) ハ二十二日夕迄ニ「ワレオ」
- 「ボンガ」各南側高地ニ陣地ヲ占領シ二十四日天明ヨリ一部ヲ以テ
- 「ソング」河以南ノ敵陣地ヲ制圧主力ヲ以テ林田部隊ニ直接協同ス
- (5) 突入ノ時機ハ二十四日四時ト予定スルモ別命
- (6) 戦斗司令所ハ「ノンガカコ」北側ニ推進ス

二十日

三宅部隊方面ニ於テハ十九日夕敵ハ中地区タル第三大隊ノ主陣地至近

距離ニ近迫シ猛攻中ニシテ第一線ハ積極果敢ナル攻撃及逆襲ヲ併用シ或ハ肉搏攻撃ニ依リ敵ノ前進ヲ阻止シアリ

二十日十時戦車四火焰発射器ヲ有スル敵ハ数千発ノ集中射撃ニ引続キ攻撃ヲ再行ス

高木大隊ハ主陣地ヲ死守シ敵ニ大ナル損害ヲ与ヘツツアルモ我方亦中隊ノ戦力約三〇名ニ減耗ス我方損害速射砲聯隊砲及機関銃各二破壊

歩七九二中隊ハ二十日夜「サ」高地ニ到着シ配備ヲ強化ス

師団主方面ノ敵ハ奇襲谷ヨリ東方海岸ニ亘リ堅固ニ陣地ヲ占領シアリ「ソング」河南岸ニハ之ト連絡スル北面ノ警戒陣地アリ河口ニハ軍橋アリ敵ハ二十日陣前ノ草原ニ放火シ射界ヲ清掃ス

師団ハ依然主力ヲ以テ「ソング」河北岸ノ敵攻撃ヲ準備中ニシテ別ニ戦列部隊ノ大部ヲ使用シ患者ノ後送並弾薬資材糧秣ヲ前送シ二十日師団主力方面ニハ四日分ノ携帯口糧ヲ三宅部隊ニハ一日分ヲ交付シ得ルニ至ル被服特ニ編上靴地下足袋ハ約二分ノ一使用ニ堪エザル状況ナリ

10

師団ハ主力ノ攻撃開始時機ヲ繰上ゲ二十二日黎明ニ変更ス

11

三宅部隊正面ニ於テハ二十一日以来敵ノ攻撃ハ稍々緩慢トナリタルモ

依然「シシ」附近ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備中ナルモノノ如ク中地区隊

($\frac{1}{8}$)($\frac{1}{8}$)⁰ⁱ

ハ「サ」高地複廓陣地ヲ確保シアリ十六日以降敵ニ与ハタル損害

ハ戦車三ノ外相当大ナルモ我方亦多数ノ兵力ヲ消耗シ第一線部隊ハ最後

迄所命陣地ヲ固守ス

師団主力方面ニ於テハ西山東方地区ニ進出セシ敵ハ二十一日夜以来逐次

兵力ヲ増加シ目下一大隊ニ上リ西山方向ニ対シ攻撃ヲ準備中ナルモノノ

如シ南山ノ敵情大ナル変化ナシ林田部隊主力ハ南山南端ニ向ヒ攻撃前進

中ニシテ二十二日七時必勝谷ヲ通過前進中ナリ

工兵挺進隊ハ「ソング」河口ニ潜入シ敵軍橋ヲ爆破セルモノノ如シ

師団ハ新タニ約一大隊ヲ以テ西山東方ニ進出セル敵ニ対シ攻撃ヲ準備ス

12

師団主力ハ二十二日朝「ソング」河南部ノ敵警戒陣地ニ突入シ之ヲ奪

取セルモ敵陣地ハ極メテ堅固ナルノミナラズ敵ハ兵力ヲ大発ニ依リ増加

シ爾後ノ攻撃ハ未タ進捗セズ田代大隊（ $\frac{1}{2}38^1$ 基幹）ハ西山攻撃ト隔絶シ二十一日朝海岸道方面ノ敵第一線ヲ突破シ爾後ノ攻撃ヲ準備中、師団主力西山東方ニ出撃セル敵ハ兵力約三、四大隊ヲ下ラザルモノノ如ク二十一日ヨリ俄然西山ニ対シ砲兵及飛行機協力ノ下ニ本格的攻撃ヲ開始シ其一部ハ西山東方約一杆ノ台上（吉川山）ニ進出「ワレオ」―「ボンガ」道ヲ遮断スルト共ニ二十二日夕刻ニハ西山ノ南側約一〇〇米ニ近迫シ工事ヲ開始ス

師団ハ二十二日一六〇三「ソング」以北ノ敵ヲ捕捉スルノ企図ヲ中止シ西山附近ノ敵ヲ包回殲滅スルニ決ス

西山ヲ守備シアリタル歩七九第四中隊ハ二十二日夜陣地前ニ逆襲ヲ敢行ス

敵ハ死体約一〇〇ヲ残シ其ノ大部ハ南方ニ潰走ス

林田部隊ハ二十二日午後以来南下スル敵ト密林内ニ於テ随所ニ交戦ス
師団ハ管理部長藤井中佐ヲ長トシ臨時藤井部隊（ $\frac{1}{4}79^i$ $\frac{1}{80}^i$ ）ノ各半部ヲ基幹

トス」ヲ編成シ出撃セル敵ノ攻撃ニ任ゼシム二十二日夕刻其ノ一部ハ東山ノ一角ヲ奪取セシモ敵ハ逐次兵力ヲ増加シ爾後ノ攻撃進捗セズ主力ハ東山附近ヨリ西山附近ノ敵右側背ヲ攻撃ス

「ソング」河南岸ヲ攻撃前進セル歩七九ノ一中隊ハ二十三日六時敵第一線ヲ奪取セルモ師団ノ新企図ニ基キ「ノングカコ」附近ニ集結ス

三宅部隊正面ノ敵ノ攻撃ハ益々熾烈ヲ極メ「ヘルズバ」―「サ」高地道正面ノ外二十三日午後以來「カテカ」―「サ」高地道ニ沿フ地区ニ執拗ナル猛攻ヲ継続シアリ

三宅部隊ハ複陣陣地ニ依リ死守シアルモ主要兵器破壊セラレ彈藥亦欠乏ノ状態ニ在ルノミナラズ補給ノ実施ハ不円滑ニシテ現地物資ノ収集極メテ困難トナリツツアリ吉川山ニ進出セル敵ハ頑強ニ同地ヲ固守シ逐次兵力ヲ増加中ニシテ師団ハ此ノ敵ニ対シ新ナル部署ノ下ニ二十六日攻撃ヲ再行スル企図ナルモ部隊將校以下ノ体力衰へ又部隊數ハアルモ中隊人員一〇、三〇名ニ過ぎズ且給養ハ概ネ乏ヲ辛フジテ補給シアルモ現地ノ芋

ハ殆ントナキ状態ニシテ強烈果敢ナル統合戦力ノ發揮ハ望ミ得ザル状況ナリ

15

二十六日四時以来師団主力ハ吉川山ニ残存セル約三〇〇ノ敵ヲ包囲攻撃中ナルモ敵ハ空中補給ニヨリ糧食弾薬ヲ維持シ且断崖等ヲ利用シ必死ノ抵抗ヲ続ケアリ又「ソング」河北岸及南山附近ノ陣地ヨリスル敵砲及迫ノ射撃ニ依リ我カ攻撃中隊ノ戦力ハ漸減シアリ

師団ハ師団最後ノ予備隊タル一中隊（三〇名）ヲ林田部隊ニ増加シ二十七日黎明攻撃ヲ再行ス

16

師団ハ全般ノ状況ニ鑑ミ兵力ヲ集結シ爾後ノ戦斗ヲ準備スルタメ三宅部隊ヲ玉碎ニ至ラザル以前ニ「ワレオ」地区ニ転進セシムルニ決ス（二十六日）

三宅部隊ハ二十七日逐次「ワレオ」附近ニ集結中ナルモ大隊砲二重砲九ノ外主要重火器ハ悉ク破壊セラレタリ二十七日〇九〇〇以来戦車五輛ヲ伴フ三〇〇ト四〇〇ノ敵ハ自動貨車十数輛ニ依リ逐次東山東端ニ前進ス

「ソング」河以北ノ敵ハ濠州第二十四旅団（283243大隊第二機関銃隊）ナルコト略確実ナリ「サ」高地ニ進出セル敵ハ二十六日有力ナル一部ヲ以テ「ボリンバンゲン」及「マサンコ」ニ侵入セリ

「ノンガカコ」附近ニハ敵ノ斥候進入シツツアルモ適時之ヲ撃退シアリ南部東山ニ進出セル敵ハ北部地域ヲ占領シアル我一中隊ニ対シ迫撃砲ヲ猛射シ且戦車五輛ヲ随伴シアリテ近ク攻撃前進シアルモノノ如シ

二十八日師団ハ主力ヲ以テ「ワレオ」及「ノンガカコ」北側附近ニ集結シ進出スル敵ニ対シ機ヲ見テ之ヲ各個ニ撃破スルニ決ス

(一) 部署ノ概要左ノ如シ

(1) 右側掩護隊（約一〇〇）「メリケオ」附近

(2) 師団主力「」歩八〇（一大隊欠）「ワレオ」附近

歩七九砲兵三中隊（三門）迫撃大隊（四門）

工兵三中隊（一八〇名）「ノンガカコ」北側附近

(3) 左側掩護隊（田代大隊三中隊砲二門）海岸道方面

(4) 各隊ハ二十八日薄暮ヨリ行動ヲ開始シ夫々指定ノ位置ニ転換ス

(二) 糧秣ハ各人三分ノ一定量一日半ヲ保有ス

海岸道地区ニ対スル敵機ノ銃爆撃及哨戒ハ逐次熾烈化シアリ

18 戦車七ヲ有スル約一大隊ノ敵ハ海岸道「ボンガ」南方地区ニ集結シア

リタルモ二十八日午後左側掩護隊正面ニ対シ攻撃ヲ開始ス

二十八日午後「ソング」河口ニ重砲(十五糎級)数門現出シ西山附近ヲ

射撃ス

東山北部ヲ確保シアル部隊ハ敵ト約七〇〇米ニ対峙シアリ同方面ノ敵ハ

逐次増加ス

師団ハ左側掩護隊ニ工兵及迫撃砲各一中隊ヲ配属シ敵ノ前進ニ備ヘシム

19 三十日「ワレオ」東南方「ソング」河左岸附近ニハ野砲(?)五ヲ有

シ又「バランコ」附近ニハ迫撃砲四ヲ有スル各一大隊ノ敵進出シ其約一

中隊ハ「ソング」河ヲ渡河左岸ニ進出ス

西山正面ノ敵ハ戦車ヲ伴ヒ逐次兵力ヲ増加シ近迫シアリ

「ボンガ」附近ニハ戦車七歩兵約一中隊ノ敵進出シアリ

師団ハ敵ヲ各個ニ撃破スル目的ヲ以テ「ワレオ」南方「ソング」河左岸

ニ進入セル敵ヲ撃破シ爾後西山方向ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ左ノ如ク部署

ス

(一) 三宅部隊ハ十二月一日「ワレオ」南方「ソング」河北岸ニ進入セル

敵ヲ速カニ攻撃シ同河南岸ニ撃退

林田部隊ハ砲兵隊迫撃砲隊及工兵隊ヲ以テ西山方向ノ敵ノ前進ヲ阻止

シ爾後ノ攻撃ヲ準備

諸情報ヲ綜合セル当面ノ敵情左ノ如シ

(一) 師団当面ノ敵ハ濠第九師団ナリ

(二) 第九師団ノ編成及配備

歩兵二〇旅団(一三、一五、一七各大隊)「フインシ」地区

歩兵二四旅団(二八、三二、四五各大隊)「ソング」河地区

歩兵第二六旅団(二三、二四、四八各大隊)「サ」高地地区

特科部隊

21

集結後ニ於ケル師団ノ戦力現況

二六旅団ノ二三大隊ノ中隊ハ_キニ減シアルモノノ如シ

(一) 隷下人員 計四六七一(病弱約三〇%輸送及現地物資収集要員一五

%ヲ含ム)

(二) 指揮下部隊 計一二七四(病弱約五〇%

同

ヲ含ム)

(三) 人員兵器状況

歩七九 一四四二(中隊平均三四) LG 四三擲弾筒二六 MG 一一 bi A 三 TA 一 Pi A 一

歩八〇 一一一九(〃 三八) 〃 四五 〃 一六 〃 一一 〃 二 〃 一 〃 ナシ

野砲二六 四五一 山砲七(内海岸警備二)

工二〇 二六四

輜二〇 四九六

衛生隊 二一九

田代大隊 二二三一 LG 一一擲彈筒 一一 MG 五 biA 一

独工三三 二〇六

迫撃二一 三三四 (砲四)

二四機砲中隊 七三 (砲ナシ)

其他 四〇〇

(四) 彈藥ハ大部消耗シ逐次補充中糧秣ハ辛フジテ日量ヲ補給シアリ

病弱者ノ大部ハ「マラリヤ」及脚氣患者ニシテ漸増ノ傾向ニアリ

五 第三期戦 (自十二月一日至十二月四日)

1 十二月一日師団爾後ノ戦斗指導要領

(一) 方針

(1) 師団ハ「ワレオ」東側ノ要線ヲ確保シ敵ヲ各個ニ撃破シ之ヲ撃滅ス

(2) 敵ノ上陸ニ対シテハ隨時反撃シ備ヘ未タ全カラザルニ乗シ之ヲ水

際ニ撃滅ス

(一) 指導要領

(1) 一部ヲ以テ「ワレオ」以西主力ヲ以テ西山附近ノ要線ヲ占領シ当面ノ敵ヲ各個ニ撃破ス

(2) 敵ノ上陸ニ対シテハ海岸警備隊ヲシテ要線ヲ確保セシメ歩兵部隊

ノ一部ヲ以テ山地道主力ヲ以テ海岸道方面ヨリ敵ヲ攻撃ス

2 「ワレオ」南方「ソング」河北岸ニ進入セル敵ハ約一大隊ニ増加シ一

日朝米三宅部隊主力ヲ以テ攻撃中ナルモ敵ノ抵抗ハ頑強ナリ

「ノンガカコ」ニ対シ敵ハ集中射撃ヲ実施シ約二ヶ中隊ハ「ソング」河

北岸ニ進出ス

林田部隊第三中隊ハ之ヲ撃退セルモ同方面ノ敵ハ逐次兵力ヲ増強中ナリ

三十日戦車四一五輛ヲ伴フ約二中隊ノ敵ハ我西山占領部隊ノ正面ニ近迫

シ来リ

西山ハ一時突破セラレタルモ之ヲ撃退シ近ク相對峙ス

右側掩護隊正面ハ戰車ヲ伴フ一ヶ大隊ノ敵「ボンガ」附近ニ於テ工事中ニシテ其ノ一部ハ二回ニ亘リ「ボンガ」北岸ニ前進シ采ルモ之ヲ擊退ス
師団正面ニ出現セル戰車ノ狀況

(イ) 中型戰車ニシテ三一七輛ヲ一群トシ前進ス装甲ハ速射砲彈ニ依リ貫通セザルモ履帶ハ二疋爆藥ニテ破壊可能ナリ

(ロ) 戰車裝備火砲（山砲級又ハ歩兵砲級）前後ニ各一MG一

(ハ) 戰車ノ行動ハ当初ノ時機歩兵ノ前方一〇〇米内外ヲ挺進シ来リシモ從來屢我肉薄攻撃班ノ為損害ヲ受ケタルヲ以テ最近ノ行動ハ慎重トナリ歩兵ノ前方約二〇米附近ヲ前進シ我陣地前約一五〇米附近ニ到レバ地形ヲ利用シテ掩護停止シ砲塔射撃ヲ実施ス

3 三宅部隊ハ「ワレオ」南方ニ進出セル敵ニ對シ攻撃ヲ続行シ第一線ヲ奪取シタルモ敵ハ頑強ニ抵抗シ戰鬥ノ進捗意ノ如クナラズ

工兵ノ爆藥投擲等ニ依リ二日薄暮猛攻シ擊退ス

林田部隊第十中隊ハ三日薄暮ニ乘シ「ノンガカコ」附近ニ陣地ヲ占領シ

アル約二〇〇ノ敵陣内ノ中央ニ潜入輕機三彈藥一五〇〇ヲ以テ突如四周ノ敵ニ対シ掃射シ之ヲ一挙ニ潰走セシム
坦送隊トシテ使用シアリタル独工三三ヲ左側掩護隊ノ西側ニ配置シ敵ノ海岸方面ヨリノ攻勢ニ備フ

4 五日師団主力正面ノ敵ハ至近距離ニ於テ攻撃ヲ準備シアルモノノ如キモ海岸道方面ハ頓ニ活氣ヲ呈シ戰車ヲ伴フ約五〇〇ハ「ボング」北岸ニ進出ス尙ボング以爾ニ兵力増強中ナリ
左側掩護隊ハ此ノ敵ト交戦シ戰車「二」ヲ破壊敵ト近ク相對峙ス
敵ハ終日砲撃ヲ實施シ遂ニ我カ山砲一破壊セラル

5 師団患者後送状況（四日）

- (一) 「ワレオ」東北方三軒野戰病院ニ坦送患者八六独歩二四
「ラコナ」患者收容所坦送三五独歩二五
「ワンドカイ」患者收容所坦送九五独歩二一〇
(二) 「ワレオ」ノ患者八十日迄ニ「ラコナ」ニ後送「ラコナ」以北ハ逐

次糧秣輸送隊ヲ以テ「ワンドカイ」ニ集結セシム
「ワンドカイ」ニ集結セル患者ハ舟艇便ニ依リ「シオ」ニ輸送ス

六 第四期作戰（自十二月十五日
至十二月十七日）

1 五日帥副爾後ノ戰鬥指導要領

(一) 方針

帥團ハ配備ヲ變更シ海岸道方面及海上ヨリスル敵ニ對シ爾後ノ攻勢
ヲ準備ス配備完了ハ十二月十日トス

(二) 部署ノ大要

(1) 三宅部隊ハ「ワレオ」附近ヲ確保シ林田部隊ノ配備變更ヲ掩護シ
主力ヲ以テ「ワレオ」東北約二杆附近ニ集結シ隨時東方及東北方ニ
對シ攻撃ヲ準備ス

(2) 林田部隊ハ速カニ一大隊ヲ基幹トスル部隊ヲシテ村上川（「ラコ
ナ」南方約三杆）南方無名川南側高地要線ヲ占領シ海岸道方面ニ對

シ師団将来ノ攻勢拠点ヲ確保セシム

主力ハ六日薄暮以後行動ヲ開始シ村上川河谷附近ニ集結爾後ノ攻撃

ヲ準備ス

右側掩護隊ハ其一部ヲ以テ現在ノ線ニ於テ師団主力ノ機動掩護ニ任ズ

(3) 砲兵隊長ハ独工三三主力及現「ラコナ」警備隊ヲ併セ指揮シ「ラ

コナ」附近ニ対スル敵ノ上陸ニ対シ警戒竝ニ攻勢拠点ヲ確保ス

(4) 師団司令部ハ七日朝現在地（「ワレオ」東北方約二杆附近）ヲ出

発「ワレオ」―「ラコナ」道ヲ村上川渡河点附近ニ移動ス

2 六日三宅部隊正面「マサンコ」附近ニ新ナル敵約一大隊進出シ其一部

（約二五〇）ハ「ソング」河北岸ニ前進ヲ開始ス

三宅部隊ハ一部ヲ以テ「ソング」北岸ニ進入セル敵ニ対セシメ主力ハ

「ワレオ」附近台上ヲ確保ス

林田部隊ハ六日早朝新配備ニ移行ヲ開始セリ

左側掩護隊正面ノ敵ハ益々活潑化シ砲撃ニ連繫シツツ「ボンガ」北方二
軒附近ニ進出ス

敵機ハ六日朝来屢「ボンガ」「ラコナ」「カノミ」附近ノ海岸道ヲ銃爆
撃ス

前線傷者ノ後送ハ七日完了ス

3

八日「ワレオ」南方ノ敵ハ本朝来断続的ニ「ワレオ」ヲ砲撃シ八時約一
一〇〇ノ敵ハ「ワレオ」東側三叉路附近ニ進出セルヲ以テ三宅部隊ハ第
一中隊ヲ以テ之ヲ急襲シ撃退セリ

三宅部隊ハ一部ヲ以テ依然「ワレオ」ヲ確保セシメ主力ヲ以テ新配備ニ
就ケリ

海岸道方面ハ八日朝来熾烈ナル砲撃ノ掩護ノ下約六〇〇ノ敵我第一線ノ
前方五〇〇米ニ進出セリ放火ヲ併用スルノ戦法ヲ採用ス

林田部隊ハ八日正午新配備ヲ完了シ田代大隊正面ニ猪突スル敵ニ対シ攻
撃ヲ準備中

小泉戦車撃滅隊（20P 主力）ハ村上川南側ニ進出シ対戦車攻撃準備ヲ完了

八日夜「ビランコ」―「ワレオ」西方約一杆半―ニ敵約一〇〇進入シ

三宅部隊第二中隊ハ同夜之ヲ夜襲撃退ス

九日午後「ワレオ」方向ヨリ三叉路附近ニ迫撃砲ヲ有スル約一〇〇ノ敵

再ビ進入「ボリンバンゲン」ニハ更ニ迫撃砲一ヲ有スル敵約一〇〇進入

ス

海岸道方向ニ於テハ敵ハ逐次兵力ヲ増加シ約二大隊トナリ林田部隊ハ之

ノ敵ニ対シ局部的攻撃ヲ実施シアリ

敵ノ抵抗ノ頑強ニシテ其一部ハ我陣地ノ間隙ニ進入セルモ第十二中隊ハ

之ヲ邀撃シ遺棄死体多数LG一自動小銃三弾薬多数ヲ鹵獲シ又第二大隊ハ

敵ノ後方ヲ攪乱ス

田代大隊「ボンガ」北方附近ニ於テ三方ヨリ敵ノ包囲ヲ受ケタルモ敵ニ

陣地ヲ確保シアリ

第一線歩兵部隊ノ戦力

歩兵中隊平均二七名（最小中隊九名）大隊総員二二八戦病者逐次多発
シアリ

6 十日「ビサンコ」附近ノ敵ハ九日夜撃退セラレタルモ其後更ニ約二〇

〇名進入ス

「ワレオ」東方三軒方面ノ敵ハ逐次兵力ヲ増加シツツアリ

「ノンガカコ」北側ニ約一五〇ノ敵進入ス尙後統部隊アルモノノ如ク該一

方面ノ敵ハ道路伐開補修中

海岸道方面ハ依然彼我交戦中

田代大隊ハ敵ト離脱シ村上川北側新道附近拠点ヲ占領ス

師団ハ極力現在線ニ於ケル要点ヲ拠点トシ局部的攻撃ヲ実施シ敵ヲ牽制

消耗セシムル如ク戦斗ヲ指導ス

7 十二月一日ヨリ十日迄ニ判明セル戦果竝我損害

(一) 戦果

遺棄死体五六二戦車三魚雷艇二

齒獲品 迫撃砲三 MG 六 LG 六 自動小銃五 小銃二五 手榴彈三〇

(二) 損害（後送輸送部隊ヲ除ク）

戦死計八六 戦傷將校一下 士官兵二七五 砲二 MG 二 破壊

8

「ボリンバンゲン」及「ジョアングエン」東方地区ニ各五〇ノ敵進出シ

其斥候ハ「マサル」（「ジョアングエン」東北方約一〇軒）附近ニ出沒ス

師団ハ該方面ノ警戒中隊ヲ以テ敵ノ進出ヲ拒止シツツ逐次「ザガヘミ」ニ

ニ転移セシムル如ク命ズ「ワレオ」南方ノ敵約一大隊ハ未ダ活潑ナル行

動ヲ開始セザルモ其有力ナル斥候群（三〇、五〇）ハ我右翼方面ニ出沒

ス

「ワレオ」東方ノ敵ハ十二日十時以來攻撃シ來ルモ撃退ス

三宅部隊ハ依然配備ヲ強化中

海岸道方面ノ敵ハ海上補給ト相俟ツテ堅実ナル前進ヲ継続中ニシテ砲撃

依然盛ナリ

「ワンドカイ」ニ対スル強行輸送ハ敵魚雷艇ト連夜交戦シツツ多大ノ危

險ヲ冒シツツ敢行シアリ

9

約三〇ノ敵ハ十二日「キンファリナ」(「ザガヘミ」東方約五軒)附近ニ出沒警戒中隊ハ之ト交戦中三宅部隊ハ十二日「ビランコ」附近ニ於テ敵約三〇ヲ撃退ス

田代大隊ハ海岸道ヲ突進スル敵ニ対シ梅川(村上川北側河川)ニ於テ反撃ヲ準備シアリ

「ラコナ」警備隊ハ「ラコナ」南方拠点ニ工事ヲ実施ス

師団ハ三宅部隊ヲシテ概ネ現配備ノ儘トシ林田部隊ヲ逐次村上川北岸ニ移行セシメツツ特ニ海岸方面ノ敵ニ対シ局部的攻勢ヲ執ラシムルト共ニ隨時上陸スル敵ニ対シ攻勢ヲ準備ス

10

十五日「ワレオ」正面ノ敵ハ活潑ナラザルモ砲兵ノ一部ヲ同高地ニ進出シ来リ「ラコナ」河及「マサエン」河両河谷ヲ射撃シ我カ後方輸送及機動ヲ妨害ス

海岸道方面ノ敵ハ舟艇ヲ利用シ逐次増加中ニシテ其第一線兵力ハ二大隊

戰車六、七輛迫撃砲七、八門ヲ下ラザルモノノ如ク「ラコナ」河南方五百米ニ於テ我ト至近距離ニ於テ交戰中
敵ノ海岸道方面ニ於ケル數日來ノ戰鬥要領ハ強引無暴ニシテ強襲ニ依ル一挙突破ヲ企圖シアルモノノ如シ
師団ハ十六日ヨリ逐次「ラコナ」河北岸ノ拠点ニ配備ヲ移行シ海岸道方面ノ敵ニ痛撃ヲ与フベク準備中ナリ

11

十七日「マサエン」河口附近ニ於ケル戰鬥指導要領

(一) 方針

一部ヲ以テ敵ノ前進ヲ拒止シ主力ヲ以テ敵ノ左側ヲ求メテ攻撃シ敵ヲ海岸ニ压迫撃滅ス

(二) 部署ノ概要

(1) 佐伯部隊（歩兵一二〇砲一門迫撃砲三門独工三三主力）ヲ以テ「マサエン」河北岸ニ於テ敵ノ前進ヲ拒止ス

(2) 林田部隊（歩兵二五〇工兵三〇）ハ一部ヲ以テ「マサエン」河南

側高地ヲ占領シ右側ヲ警戒シ主力ヲ以テ「マサエン」河南岸ニ沿ヒ

敵ノ左側ヲ求メテ攻撃シ之ヲ海岸ニ圧迫撃滅ス

(3) 三宅部隊（歩兵五〇）及小泉部隊（工兵三〇）ハ林田部隊ノ後方

ヲ前進シ「マサエン」河北岸ニ瀘過進出シ北岸ヲ占拠ス

(4) 攻撃時機

十八日正午以後ト予定ス

十七日海岸道方面ノ敵ハ舟艇ニ依ル輸送ト熾烈ナル砲爆撃ニ依リ突進シ
ヲ継続シ十七日正午「ラコナ」河ヲ強行渡河シ「ラコナ」「マサエン」
河中間地区ニ進出セリ

林田部隊ハ該方面ノ敵ヲ拒止スル為主力ヲ以テ「マサエン」河口ニ配備
ヲ移行ス

田代大隊ハ十四日夕以来「ラコナ」海岸南側拠点ヲ守備シ戦車ヲ伴フ十
数倍ノ敵ノ猛攻ノ重囲下ニ在リテ戦斗ヲ継続シ林田部隊ノ兵力転用ヲ容
易ナラシメタルモ十六日夜敵ト離脱シ或ハ海上ヲ游泳シ或ハ敵陣地ヲ突

破シ十七日未明基ノ一部ハ「ラコナ」河北岸拠点隊ニ收容セラル

「ラコナ」警備隊ハ主力ヲ以テ突進セル敵ヲ拒止スルト共ニ引続キ「マサエン」河北側地区ニ配備ヲ促進中ナリ十七日山砲二門ヲ破壊セラレ残ル一門ヲ以テ交戦ス

「ワレオ」方面ニ進出セル敵ノ其ノ後ノ行動活潑ナラザルヲ以テ三宅部隊ハ山地方面ノ配備ヲ最小限トシ主力ヲ「マサエン」河河口近クニ集結中ナリ

林田部隊第一線兵力（三宅部隊ノ戦力モ亦概ネ同様ナリ）

第一大隊ノ小銃中隊 合計 六九

第二大隊 同 五六

第三大隊 同 一四五

糧秣ハ二分ノ一定量ニテ十八日昼迄保有シアリ

13 船工五八大発ニ依リ師団ノ「フィンシ」地区前進ニ協力シ戦闘開始ト

ナルヤ「ナバリバ」ヲ補給拠点トシテ「シアルム」「ナンド」「カノミ」

「ワンドカイ」「ラコナ」等ニ対スル強行補給輸送ニ任ジ敵魚雷艇ノ妨害ヲ敢然排撃シ荒浪ヲ冒シ兵員器材ノ損耗ヲ顧ミズ克ク任務ヲ遂行ス
特ニ魚雷艇ト遭遇スルヤ機先ヲ制シ果敢攻撃ヲ実施シ九月以降十二月中旬迄左ノ戦果ヲ収メタリ

強行輸送日数 五六

魚雷艇トノ交戦 一六 魚雷艇延四二隻以上

撃沈破 一一

我が損害 九隻沈没 六隻大破

七 第五期作戰（自昭和十八年十二月十九日
至昭和十九年一月三日）

1 軍ハ師団ガ長期ニ亘リ補給ノ困難ヲ克服シ克ク優勢ナル敵ヲ脅威牽制
シ全般ノ作戰ヲ容易ナラシメタルモ今ヤ其ノ戦力著シク低下シ且「ラコ
ナ」河「シオ」間ノ地形ハ概ネ草原ニシテ大部分戰鬥ニ適セザルヲ以
テ此ノ際自主的ニ「シオ」地区ノ確保態勢ニ移行スルニ決シ師団ニ対シ一
一挙ニ「カラサ」地区ニ戰面ヲ収縮スル如ク命ゼリ
右ニ基キ師団ハ爾後ノ戰鬥指導要領ヲ左ノ如ク定ム

(一) 方針

師団ハ「マサエン」河谷地区ノ敵ニ一撃を加ヘタル後有力ナル部隊
ヲ以テ海岸道ヲ「アゴ」附近ニ主力ヲ以テ海岸ニ沿ヒ山地道ヲ先グ「
アゴ」「ザガヘミ」ニ向ヒ転進ス
主力ノ到着ハ二十四日ト予定ス

(二) 部署ノ概要

(イ) 三宅部隊（歩八〇ノ主力迫撃二一独工三三）ヲシテ二十日薄暮以降「マサエン」河北側ヨリ二十三日迄ニ「アゴ」附近ニ転進シ該地付近ヲ占領ス

特ニ海岸ノ警備ヲ強化スルト共ニ師団主力ノ攻勢拠点ヲ確保ス

(ロ) 林田部隊ハ衛生隊ノ主力ヲ併セ指揮シ二十日朝山地道を師団司令部ニ続行シ隨時敵ノ上陸ニ対スル攻勢ヲ準備ス

(ハ) 師団司令部ハ二十日朝「マサエン」河口ヲ出発シ山地道ヲ二十四日迄ニ「ザガヘミ」「アゴ」ノ線ニ至ル

(ニ) 輸送隊（輜重二〇基幹）ハ後方ノ整理及補給特に山地道転進部隊ノ為側方補給ニ任ズルト共ニ患者後送ニ萬全ヲ期ス

2

十八日夕「ラコナ」河口ニ敵ノ舟艇約十数隻進入ス

十九日「ラコナ」河北岸海岸方面ニ進出セル敵ハ約二大隊ニシテ戦車数輛ノ外自動車及牽引車約十輛内外ヲ有シ第一線約三中隊ハ「マサエン」河南岸海岸道地区ニ其ノ一部ハ山麓リニ工事ニシテ斥候ハ「マサエン」

「河口ニ出沒シアリ」「マサエン」河北岸拠点隊ハ迫撃砲ヲ以テ敵ノ前進ヲ阻止シ多大ノ損害ヲ与ヘタリ

3 林田部隊ハ二大隊ヲ第一線トシ又数組ノ肉攻班ノ外斬込隊ノ潜入セシメ「マサエン」河谷西方地区ヨリ攻撃ス

師団主力ハ十九日夜暗ヲ利用シ敵ト離脱シ二十日早朝ヨリ予定ノ如ク転進ヲ開始ス

4 二十一日戦車一〇ヲ伴フ約六〇〇ノ敵ハ十五時「マサエン」河口北方三軒附近ニ進出ス

三宅部隊ハ「アゴ」以南海岸ノ要地ヲ逐次占領シ敵ノ前進ヲ妨害ス

二十一日及二十二日敵機ハ「ワンドカイ」「アゴ」「カノミ」附近海岸地帯ヲ執拗ニ銃爆撃ス

師団主力ハ二十二日午後「ザガヘミ」東側ニ到達ス

5 三宅部隊ハ主力ヲ以テ「アゴ」附近ニ在リ二十五日薄暮行動ヲ起シ「カノミ」附近ノ要線ヲ占領シ敵ノ前進ヲ妨害ス

師団主力ハ二十五日「オララコ」北側附近ニ達ス

6 二十八日「ワンドカイ」以北ノ敵ハ約二千(戰車約一〇砲約七、八門

一)ハ海上機動ヲ併用シ積極的ニ北進中ナリ

一部(約六百戰車七)ハ二十八日午後「ナンダ」ニ進出セリ

師団ハ一部ヲ以テ「ハーデン」「シアラム」附近ニ於テ敵ノ前進ヲ拒止

セシメ二十九日主力ヲ「カラサ」附近ニ集結シ機ヲ見テ敵ノ側背ヲ攻撃一

シ之ヲ海岸ニ圧迫スル如ク準備中戰線収縮ニ伴フ海岸道方面ノ後方ノ整

理ハ順調ニ実施セラレツツアリ

二十八日現在糧秣ハ三分ノ一定量三日分ヲ保有ス

7 二十九日約三〇〇ノ敵ハ「ヌゼン」南方二軒附近ニ進出ス三宅部隊ハ

之ノ敵ヲ邀撃シ撃退ス

師団ハ「ダンピール」海峡兩岸ノ最後の拠点トシテ「シオ」附近ヲ確保

スベキ軍命令ニ基キ「ダルマン」河左岸高地ヨリ「ナブリバ」附近ヲ經

テ「シオ」西南高地ニ亘リ陣地ヲ占領スルト共ニ「ケレメン」河以東海

岸及「フィニステル」諸山系ノ警戒等ニ任ズルコトナル

尚「シオ」附近ニ陣地構築中ノ部隊ヲ配属セラル

8 師団ハ「シアルム」附近ニ於テ敵ヲ阻止シツツ三十一日行動ヲ開始シ

「ダルマン」河左岸ニ移行シ新任務ニ就フ

師団司令部ハ昭和十九年一月三日夜「シオ」ニ到着セリ

八 其他

一 師団ハ本作戦ニ於ケル武功拔群ナルニ依リ軍司令官ヨリ感状ヲ授与セラル

二 十二月十一日參謀總長戰況上奏ノ際「フィツシュハーヘン」附近ニ於ケル第二十師団長ノ指揮スル各部隊ガ長期ニ亘リ寡兵克ク優勢ナル敵ニ對シ勇戦奮斗セルニ関シ御嘉賞ノ御言葉ヲ賜ル

三 「フィツシュハーヘン」附近戦斗經過要図附図第二ノ如シ

其三 「フィニステル」山系地区戦斗

一 全般ノ状況

1 「ベナベナ」「ハーゲン」地区

戦諜報機関ノ根拠地ニシテ柳川支隊ノ「マダン」前進ト共ニ其ノ宣伝及諜報機関活動ハ著ルシク活潑トナリ其一部ハ「ラム」河左岸近ク前進シ「マダン」地区土民ノ獲得ヲ企図セルモノノ如ク其ノ兵力土民兵ヲ主トスル約一大隊ニテ七月以来逐次武力工作ノ様想ヲ呈シ来レリ

2 柳川支隊ハ軍命令ニ基キ十八年三月以来「フィニステル」山系突破啓
開作業ヲ鋭意続行セルモ九月末ダ延長僅カニ四十五軒ニシテ「ラム」平
原ヘノ進出ハ十八年末ニ至ル見込ナリ

3 「ラエ」「サラモア」地区

第五十一師団ハ「ラエ」「サラモア」地区ヲ確保シアリシカ岡部支隊ノ「ワウ」攻撃不成功後敵兵力ハ急激ニ増加シ九月六日敵ノ一部ハ「ホボイ」ニ上陸「ラエ」地区ノ確保困難ナリ

4 土民ノ状況

「ラム」平原以北ノ土民ハ一般ニ我ニ協力的ナルモ土民ノ性質上敵諜報網ノ浸透ニ從ヒ逐次我情報ハ敵ニ入手セラレアルモノノ如ク敵空中勢力ノ急増ニ伴ヒ啓開路宿营地船舶ノ被害ハ増大シツツアリ

5 三月以降「マダン」ニ前進セル部隊ハ当初ヨリ糧秣二分ノ一定量ニシテ而モ主食ノミニテ副食ナク五月以降ハ調味品モ欠乏シ海水ヲ以テ炊事スル状況ニシテ連日ノ土工作業ニ依リ九月頃ハ既ニ「マラリヤ」及栄養失調患者続発スルノ状況ヲ呈スルニ至レリ

二 「カイアビット」作戰前ノ状況（自十八年四月中旬至同年九月十日）

1 柳川支隊ハ四月水井偵察隊（3/79¹）及松本憲兵隊（松本中尉以下六名）ヲ以テ「ケセワ」附近ニ位置シ「ベナベナ」方面ノ敵諜報機關ニ對セシメアリシガ敵ノ「ラム」河右岸ニ屢、進出スルニ及ビ七月中旬「カセメ」ノ敵ヲ攻撃該方面ノ敵亦七月初旬以來活潑トナリ森貞隊（5/80¹）ノ

「ラム」河左岸敵搜索拠点ニ対スル二回ノ攻撃ニ不拘「カイナンツ」「アイユラ」ノ敵ハ約一中隊トナリ「ウッドフル」山方向ニ出沒ス

3 「ラエ」方面ノ敵ハ逐次第五十一師団ノ右翼ヨリ溢出其ノ一部ハ「ワシビト」「マリリナン」ヲ經テ「サンガ」ニ出テ「カイナンツ」ノ敵ト連絡スルモノノ如ク土民報ニ依レバ「マリリナン」迄ノ自動車道ハ既に完成シアリ

4 第五十一師団ハ銳意敢斗セルモ九月四日大発數隻ヨリ成ル有力ナル敵ハ「ホボイ」ニ上陸シ又九月七日落下傘部隊約一大隊ハ「マザブ」飛行場ニ降下シ三方面ヨリ包囲セラルルニ至リ軍命令ニ基キ「ラエ」地区ヲ放棄スルノ止ムナキニ至レリ

5 軍ハ如上ノ状況ニ鑑ミ第二十師団主力ヲシテ「ダンピール」地区ノ確保別ニ歩兵団長ノ指揮スル歩兵一ケ聯隊基幹フ以テ中井支隊ヲ編成シ第五十一師団ノ「ラエ」転進ヲ掩護セシムル目的ヲ以テ「カイアビット」ニ急進ヲ命ズ

三 第一期「カイアビット作戦」(自昭和十八年九月二十五日)

1 中井支隊ノ編組左ノ如シ

支隊長 第二十歩兵団長 中井少将

本部

先遣隊 (MG 二銃編成)

III (10/11) 201B 781

本隊 781 (III 48 欠) I / 26A S 一中 2.3 / 20T 2 / 3TS 5 / 3TL 2FL 齊藤義勇隊

森貞搜索隊 5 / 801 (一小) 781 MG 小 781 属

尾花搜索隊 12 / 781 (松本憲兵隊 一部) 781

酒井搜索隊 4 / 781 (一部) 781

部署ノ大要左ノ如シ

- (一) 先遣隊ハ九月七日「ヨコビー」出發「カイアビット」ニ急進同地ヲ占領シ第五十一師団ノ転進掩護 配属工兵ハ「ラム」平原主要河川ニ対シ本隊通過ニアタリ架橋セシム
- (二) 本隊ハ歛喜「マラワサ」間ニ拠点ヲ配置シ先遣隊及第五十一師団ノ為「マラワサ」ニ糧秣十屯彈藥其他ノ集積ヲ実施シツツ敵落下傘部隊ノ「ラム」平原降下ニ当リテハ隨時攻撃ノ準備ニ在ラシメ先遣隊ノ後方ヲ警戒輜重隊ハ歛喜以北ノ輸送ニ任ゼシム
- (三) 森貞搜索隊ハ土民ヲ使用シ「マーカム」河ノ河橋「マラワサ」以東地区ニ対スル糧秣輸送 先遣隊到着ト共ニ其ノ指揮下ニ入ル
- (四) 但狀況ニ依リ「ウッドブル」山方向ヨリ「カイナンワ」ヲ攻撃セシム
尾花搜索隊ハ「ベナベナ」方向ノ敵情監視
- (五) 酒井搜索隊ハ敵ノ我部隊中断ヲ警戒特ニ「ラム」平原ニ対スル敵落下傘降下ヲ警戒セシム

(六) 支隊司令部ハ九月八日「ヨコビー」出發本隊ノ先頭ヲ先ヅ「マラワ

サ」ニ同ヒ前進ス

3 各隊、支隊司令部ト前後シ「ヨコビー」ヲ出發連日降雨ノ為泥濘膝ヲ

没スル土人道ヲ前進二十日頃配置ニ就ケリ

司令部ハ昼夜兼行強行軍ニ依リ九月十八日夕「魂ノ森」に到達夕刻森貞

大尉ヨリノ報告（書類）ニ接ス

4 森貞大尉報告ノ概要

(一) 「カイアビット」ヲ守備シアリシ森貞隊高尾小隊（約二〇）ハ十七

日朝来約五〇ノ敵ノ攻撃ノ受ケ一応撃退セルモ正午頃ヨリ再ビ約一五

〇ノ敵ノ攻撃ヲ受ケ止ムナク「カイアビット」北方約二軒ノ部落ニ後

退對峙セリ

(二) 十八日三時同地ニ到着セル先遣隊ハ連日ノ強行軍ニ落伍者多ク到着

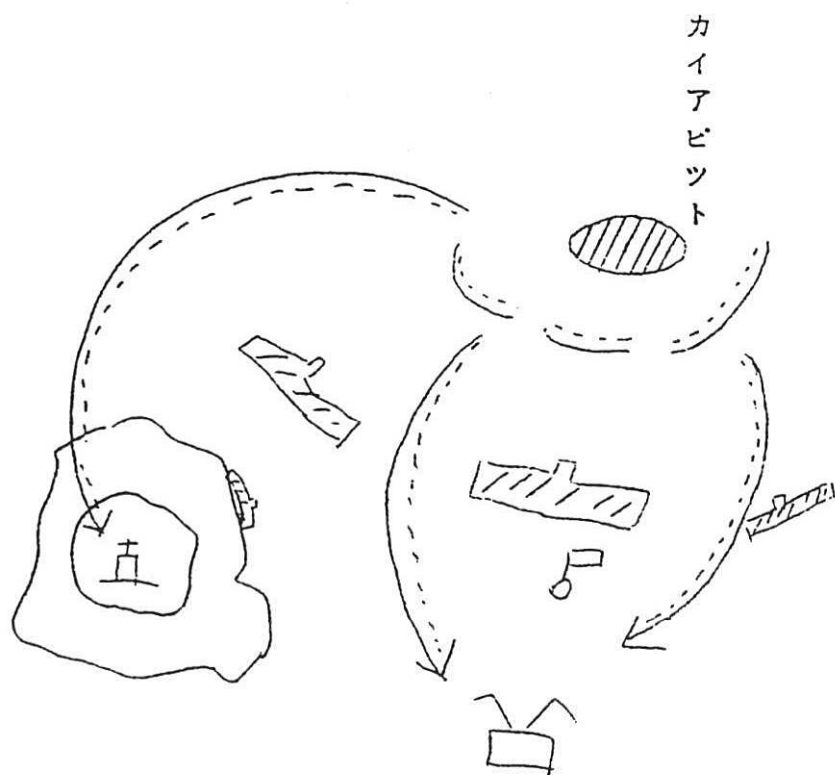
セシハ一〇〇名ニ過ギズ疲労困憊シアリシガ大隊長米倉少佐ハ右状

況ヲ知り敵ノ防備整ザルニ乗ジ同日黎明ヲ期シ「カイアビット」ノ敵

ヲ攻撃スルニ決ス

(三) 米倉大隊ノ兵力ハ大隊主力(二〇〇)森貞隊(五〇)ニシテ一五〇ニ過ギズ
大隊ハ五時「カイアビット」部落ニ近接セル大隊ハ左図ノ如キ態勢

ヲ以チ〇五、三〇攻撃ヲ開始セリ



(注)

例



敵

自



我

(四)

然ルニ敵、猛然優勢ナル火力ヲ以テ抵抗ヲ試ミ我ハ充分敵ニ近接セ
ル為損害続出加フルニ草高一米四五〇ニ及ブ為上下左右ノ連繫トレズ
混戦乱斗トナレリ

戰鬥將ニ酣ナル時同地附近制高点タル教会高地ハ敵ノ奪取スル所トナ
リ

我方ハ後方及左側方ヲ敵ニ暴露スルニ至リ加フルニ第一線ノ間隙ヨリ
溢出セル敵ハ予備隊ヲ一兵モ持タザル大隊本部ニ突入大隊長以下ノ消
息不明

5 右状況ヲ承知セル支隊長ハ速カニ川東大隊(178¹)ヲ以テ米倉大隊ニ増
援「カイアビット」ノ奪取ヲ決心シ川東大隊ニ対シ「ダキサリヤ」ニ向
ヒ急進ヲ命ズ

6 翌十九日司令部ハ「ダキサリヤ」ニ前進同地ニ負傷シ報告ニ帰來セル
森貞大尉ヨリ状況ヲ聴取増援機失セルヲ知り高柳參謀ヲ第三大隊トノ連
絡並收容隊長トシ翌二十日早朝一中隊ヲ其ノ指揮下ニ入ラシメ急拠出発

セシム

7 敵ハ二十一日飛行機援護ノ下ニ「マーカム」河ニ架橋ヲ開始「ザガラカ」我守備隊（一分MG^二）ハ架橋妨害ヲ実施セルモ成果挙ラズ夕刻敵ハ架橋ヲ完了二十二日朝来「ザガラカ」守備隊ニ対シ迫撃砲三門支援ノ下ニ攻撃シ来リ守備隊克ク敢斗セシモ遂ニ奪取セラレ夕刻敵ハ「ザガラカ」部落ニ進入セリ

8 二十二日支隊長ハ該敵ニ一撃ヲ与フル目的ヲ以テ斉藤義勇隊ヲ森貞大尉ノ指揮下ニ入レ（約八〇）攻撃ヲ命ズ

9 然ルニ敵兵力意外ニ多ク（約二〇〇）森貞大尉ハ潜入攻撃ヲ実施スルニ決シ同夜三組ノ潜入攻撃班ヲ派遣二組ハ敵指揮官幕舎ノ爆碎（約十名殺傷）他の一組ハ草原ヲ焼却シテ敵露営部隊ヲ混乱セシメタリ

10 同日敵ノ一部ハ「アンカラケン」ハ「カイアビット」北方六軒ニ進出シ来レルヲ以テ高柳隊ハ之ヲ攻撃其ノ北方迂回企画ヲ断念セシメタリ

11 二十三日左記軍命令ヲ受領ス

- (一) 約一ヶ師ノ敵ハ二十二日朝来「フィツシュハーヘン」ニ上陸ヲ開始
セリ第五十一師団ノ転進ハ「シオ」ニ向ヒ順調ニ実施セラレアリ
- (二) 軍ハ自主的ニ戦面ヲ収縮セントス
- (三) 中井支隊長ハ速カニ歎喜~~山~~九一〇高地ノ線ヲ占領シ「ラム」草原方
向ヨリスル敵ノ攻撃ニ対シ~~山~~強ナル遂撃ヲ実施スベシ
但「エリマ」地区海岸ノ防備ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス
- 右軍命令ニ基ク支隊長部器ノ大要
- (一) 1/7~~山~~ラシテ速カニ第三大隊ノ収容ヲ終了セシム
- (二) 右収容終了ト共ニ歩七八(Ⅲ欠A一中属)ヲ以テ歎喜~~山~~附近ニ陣地
占領
- (三) 野砲一大隊ハ「エリマ」地区ニ位置シ海岸防備
- (四) Ⅲ~~山~~ハ六一〇高地ニ前進シ「ケセワ」方向ヨリ「マダン」方向ニ向
フ敵ヲ拒止
- (五) 3/7~~山~~及斉藤義勇隊ヲシテ山系麓山地道ニ沿ヒ西進スル敵ノ拒止及「

ラム」平原ニ対スル敵ノ進出状況ヲ搜索セシム

13 二十日以来高柳収容隊トノ連絡杜絶ノ儘二十二日「ザガラカ」ニ侵入

セル敵ハ我主力ノ移動ニ先立チ西進セントスル兆候濃厚ナリシガ二十四日高柳収容隊ハ収容ヲ終リ帰還セルヲ二十五日正午ヲ期シ前記部署ニ基ク命令ヲ下達各隊夫々行動ニ就ケリ

14 「カイアビット」作成ニ於ケル彼我ノ兵力及戦果損害

敵五〇〇下ラズ 死傷 約二〇〇

我一五〇 " 八〇

15 本戦斗ニ依リ第五十一師団ノ転進ヲ容易ナラシメ敵ノ有力ナル部隊ノ

「カイアビット」方向ニ牽制スルヲ得タリ

四 第二期「スリマ」 「グルンボ」附近ノ戦斗

(自昭和十八年九月二十七日
至同年一〇月十五日)

1 九月二十五日以来歩七八第二大隊ハ「グルンボ」ニ位置シ歓喜 第一線陣地タル「スリナム」河合流点―小池村―全禿山ニ亘ル陣地偵察竝陣

地構築ヲ開始ス

2 齊藤義勇隊ハ二十七日夜魂ノ森敵幕舎二の爆碎（殺傷三十余名）極力敵ノ前進阻止ニ努メタルモ敵ハ二十七日三縦隊トナリ約五〇〇西進二十八日再ビ三縦隊約五〇〇「ラム」河ヲ渡河「カイナンツ」ヨリ「トング」方向ハ二十九日輕装甲車三「ダキサリヤ」附近ニ現出等敵ノ西進企画活潑ナリ

3 敵ノ急速ナル進出ニ伴ヒ「ナンバホーブ」「ワンプン」「カイグリン」「ニ在リシ第二中隊ハ糧秣輸送途中敵ノ包囲ヲ受ケシガ之ヲ脱出後退セラルヲ以テ「スリナム」河合流点ニ陣地ヲ占領セシム

4 茲ニ於テ支隊長ハ酒井隊ヲシテ「トンプ」撤退セシメ「スリナム」河一右岸ニ前進陣地ヲ占領セシムルト共ニ歩七八主力ヲシテ歛喜ニ陣地ヲ占領セシム

歩七八長ノ部署大要左ノ如シ

(一) E / 781
ヲシテ「スリナム」河合流点——小池村——全禿山——焼山ノ線ニ第一

線陣地ヲ占領セシム

(一) II / 781 ヲシテ不拔山―入江村―屏風山ノ線ニ第二線陣地ヲ占領セシム

5 右部署ニ基キII / 781 ハI / 781 ト十月四日以来交代中ナリシガ焼山守備ニ任ジアリシ一小隊ハ命令電文ノ誤ニ依リ交代部隊到着前十月四日同地ヲ撤退セリ

6 五日「トンプ」守備ニ任ジアリシ斉藤義勇隊六及土民二〇ハ「ラム」河ヲ渡河來攻セル約一五〇ノ敵ノ包囲ヲ受ケ「フレジャボ」川ニ沿ヒ後退シ來ル

敵ハ追尾シ來リ焼山ヲ占領シ六日朝來空地連絡ヲ開始セリ

7 六日夜「トンプ」ヨリ後退セル兵ニ依リ5、6ノ狀況ヲ承知セル支隊長ハ當時若菜村附近ニ集結第二線陣地ヲ占領準備中ナリシ第二大隊ヲシテ速カニ該敵ヲ攻撃「ラム」平原ニ圧迫スル如ク命ズ

8 第二大隊（八中欠）ハ七日夕主力ヲ以テ薄暮攻撃ヲ實施セルモ地形未知ノ為攻撃意ノ如クナラズ八日早朝來攻撃ヲ再興セリ

9 敵ハ迫撃砲三ヲ有スル約一〇〇ニシテ早朝来ノ攻撃ニ依リ敵主陣地ノ一角ニ突入セルモ爾後敵ノ一部(土民兵)敏捷ニ移動ス我方地形未知加フルニ連日ノ雨ノ為運動鈍重トナリ同日午後來遂ニ包囲セラルルニ至ル

10 第二大隊長ハ右状況ニ鑑ミ若菜村東方小流左岸ノ線ニ集結攻撃再興ノ準備セリ

11 十月七日第二大隊出發以後十日迄ニ知得セル状況左ノ如シ

(一) 第二大隊ノ攻撃正面タル焼山ハ七日以來銃砲聲盛ナリシカ砲ノ彈着音逐次東方ニ移動Mg銃声ハ八日以來靜トナル

(二) 川東大隊(第一大隊)ノ敵情左ノ如シ

イ 十月六日敵約二、三〇〇「オリヤ」川下流ヲ上流ニ向ヒ前進中

ロ 全禿山ハ十月六日敵約一〇〇ノ占領スル所トナル

ハ 十月七日敵約一〇〇「オリヤ」川合流点附近ヨリ藤本村方向ニ前進セル足跡アリ

合流点ヨリ稍上流ハ十月六日第一中隊ヲシテ占領セシメアリ

ニ 小池村ノ第一中隊ハ六日以来連日二、三〇〇ノ敵来攻セルモ撃退シアリ

戦果 敵機二撃墜遺棄約五〇

ホ 十月四日以来「スリナム」川ヲ渡河セル敵ノ状況ニ鑑ミ「グルンボ」附近要点占領ノ為酒井隊ハ五日前進陣地ヲ撤シ「グルンボ」ニ集結ス

ヘ 南麓道ヲ警戒シツツ後退セル第三中隊(1/3MG 属IH)ハ七日「ムゴ」ヲ占領

ト 義勇隊ハ小池村陣地正面ノ敵砲一迫三幕舎三ヲ爆碎セリ

12 支隊長ハ「オリヤ」河方面ノ敵情ニ鑑ミ速カニ第二大隊ヲシテ第二線陣地ヲ占領セシムル如ク指導セルモ歩七八本部 第二大隊間ノ無線ハ依然不通ナリ

13 十二日支隊長ハ第一大隊ヲシテ第二大隊ノ攻撃ヲ援助セシムル如ク指導ス

14 第一大隊長ハ當時予備隊タリシ第四中隊ヲ指揮シ第二大隊ト連絡之ト

協力スルト共ニ「ムゴ」ニ在リシ第三中隊ヲ「グルンボ」ニ配置「オリヤ」

15 十三日ニ至ルモ兩大隊ノ連絡トレズ敵ハ益々活潑ニ「オリヤ」「スリ

ナム」「フレジヤボ」各河川ニ対スル行動活潑トナリタル為支隊長ハ攻

撃ヲ中止シ第一線陣地ヲ撤収速カニ第二線陣地ヲ占領セシムル如ク歩七

八長ヲシテ指導セシム

16 十四日兩大隊ノ連絡成リ同時第一大隊ニ派遣セル連絡將校又前項命令

ヲ伝達セルヲ以テ兩大隊ハ十四日夜ヨリ逐次歎喜 第二線陣地ニ就キ配

備変更時ニ於ケル危機ヲ脱セリ

17 本戦斗ニ於ケル彼我ノ兵力及戦果損耗

敵 約一〇〇〇 損害 十二人 一三人 幕舎三

我 約一〇〇〇 戦死傷 一〇〇

18 支隊長ハ十月十日以来取敢ヘズ配置セル不拔山ノ独工三七第二第三中

中隊及入江村第五中隊ヲ第二大隊ト交代セシメ左ノ如ク歩七八長ヲシテ陣地占領セシム

(一) 屏風山 第十一中隊

(二) 入江村 作業隊及野砲第二十六聯隊第三中隊 (BA二)

(三) 不拔山 第五中隊 第二機關銃中隊 聯隊砲小隊 (RiA一)

(四) 藍山村 第六中隊

(五) 黒木村 第二大隊本部

19 之ヨリ先十月十四日「ホリバ」方向ニ派遣セル第五十一師団補充員三一

〇ハ敵約五〇ノ攻撃ヲ受ケ「ホリバ」東方高地ニ撤退セルノ報エ接セル

ヲ以テ支隊長ハ直チニ森貞隊ヲシテ該方面ニ陣地ヲ占領セシメ主力ハ十

六日歎喜^{タカ}出^デ発^{ハツ}先ズ「ヨコビー」ニ向ヒ前進ス

20 「ホリバ」山森貞隊ハ川東大隊ノ「サイバ」到着ト共ニ其ノ指下ニ入

ル

21 「グルンボ」「スリマ」附近戰鬥經過要図別紙ノ如シ

五 第三期「ケセワ」作戰

（自昭和十八年十一月八日
至昭和十八年十一月十五日）

一 戰鬥前ノ彼我態勢ノ概要

1 「トンプ」ニ集結セル敵ハ濠第七師団ニシテ其ノ兵力約二千重砲五
山砲十數門迫撃三十數門ヲ有シ「トンプ」飛行場ハ情円形滑走路ヲ有シ
中型飛行機ノ離着陸可能ニシテ十月中旬以來我陣地及補給路ハ敵ノ爆撃
目標トナレリ

又連日砲撃ニ膚接小部隊（五〇程度）ヲ以テスル攻撃ヲ繰返シアリシカ
十月中旬以降其ノ一部約一大隊ハ「ケセワ」附近ニ進出其拠点ヲ「ホリ
バ」西方及「ケトバ」「イサクバ」ニ推進シ「ホリバ」及「オンゴール
」ノ我陣地ヲ攻撃該方面ヨリスル「マダン」進出ノ公算少シトセズ

2 海岸方面ハ師団主力尚「フィンシ」地区ニ於テ敢斗中ニシテ「エリマ
」地区ニ対スル敵上陸ノ企図未ダ大ナラズ

3 「ウシナ」「ウリギナ」地区ノ歩二三九第七中隊青木隊（クラウ警備
隊方面）又敵諜報機關ノ活動逐次活潑トナリ「オブソウ」「ケブソウ」

地区土民ノ動向樂觀ヲ許サズ

4 歎喜^シ陣地占領部隊ハ連日ノ降雨及赤虫（皮膚ニ喰ヒ込ム微細ナル害

虫）ニ難マサレ且補給二分一定量ニシテB剤ノ欠乏及連日ノ濠生活ニ依

リ栄養失調者及脚氣患者続発シ稍々疲労ノ色アルモ九一〇高地守備隊（

Ⅲ/⁷⁸¹）及川東大隊（Ⅰ/⁷⁸¹）ハ志氣旺盛ナリ

5 支隊長ハ如上ノ状況ニ基キ「ケセワ」ノ敵ニ一舉ヲ与ヘ該敵ノ西北進一

企図ヲ挫折シ併セテ「トンプ」ノ敵ヲ牽制セシムル目的ヲ以テ「ケセワ

」ノ敵ヲ奇襲スルニ決ス

6 攻撃部署ノ大要左ノ如シ

(一) 方針

敵ニ企図ヲ秘匿シ攻撃ハ奇襲ヲ以テ開始（義勇隊ノ潜入攻撃ヲ合図

ニ広正面ニ対シ各隊一斉ニ攻撃ヲ開始シ「ケセワ」ヲ三方向ヨリ包囲攻

撃奏効後主力ハ「トンプ」ノ敵側背ニ向ヒ一部ハ「ウリギナ」方向ニ

向ヒ戦果ヲ拡張ス

(一) 編組

支隊長 中井少将



781
(-8)

5/
801

2391
(I, III欠)

5/
3TL

2/
3TS

2, 3/
20T

2FL

1/3/
20S

斉藤義勇隊

一中 / 37PS
松本憲兵隊

(三) 部署ノ大要

(1) 歩七八主力 (4-11(-7))

+5/
801

ヲ準備義勇隊酒井隊ノ潜入攻撃開始ト共ニ「アスアス」(7中)「ホイバ」(3中)「ケセワ」(I及5/801)ニ対シ南面シテ攻撃ヲ開始ス

攻撃奏功後主力ハ「トンプ」方向ニ対シ攻撃準備

(2) 斉藤義勇隊ハ全力ヲ以テ十二月八日三時ヲ期シ「ケセワ」東西南

北各区(各、幕舎三、四〇)ニ対シ一斉ニ潜入爆破酒井隊ハ義勇隊

ノ潜入爆破ニ直接擾乱

午後「トンプ」方向ノ敵情搜索ス

(3) 第三大隊 (一^中 ³⁷²³ 一^小 ^{R1A} 一^小 属) ハ「ソウシ」「コロナ」敵掃蕩後

速カニ「コロバ」ニ進出一部ヲ以テ「ケトバ」「イサリバ」ノ敵ノ
退路ヲ遮断スルト共ニ主力ハ「ケセワ」ニ対シ攻撃

「ソウシ」「コロナ」ノ攻撃開始ヲ八日三時トス

(4) 歩二三九主力 (松本憲兵隊属) ハ「ケトバ」「イサリバ」ノ敵陣

地奪取後成ル可ク速カニ ⁶²「ケセワ」ニ進出爾後ノ攻撃ヲ準備

「コロバ」ニ於テ一中隊ヲ「ウリギナ」ヲ經テ「ケブソウ」「オブ

ソウ」附近ニ至リ「クラウ」警備隊ト共ニ同地附近ノ敵掃蕩ヲ実施

(5) 歡喜^ヤ部^々隊ハ依然現任統行

(6) 支隊司令部ハ先ズ「オンゴール」ニ前進次デ歩二三九ノ後方ヲ「

ケセワ」ニ向ヒ前進

(7) 攻撃開始ハ十二月八日三時トス同時迄企図秘匿ノ為無線封止ヲ実

施ス

(8) 作戰期間ハ概ネ一週間トス

7 十二月一日支隊長ハ各部隊長ヲ集メ作戰計画ヲ説示ス司令部、五日「クワトウ」出發先ズ「オンゴール」ニ前進ス

二 戦斗經過ノ概要

1 十二月八日三時各隊ハ一斉ニ攻撃ヲ開始歩七八方面「ホリバ」十二月八日れい明突入

「アスアス」十二月九日突入「ケセワ」ハ奇襲成功シ敵ハ狼敗遁走シ第一大隊ハ難ナク №2 「ケセワ」ニ突入爾後 №2 「ケセワ」西方高地ニ東面陣地ヲ占領爾後ノ攻撃ヲ準備ス

第三大隊方面又「ソウヤ」「コロナ」ヲ八日れい明突破一部ヲ以テ「コロバ」ニ於テ敵ノ退路ヲ遮断セシメ主力、 №2 「ケセワ」南方「ジャングル」内ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

歩二三九主力ハ七日夜来ノ雨ノタメ「ケヤゴロ」川ハ氾濫シ同川沿ヒニ「ケトバ」後方ヨリ同陣地攻撃ノ予定ナリシ為攻撃時機ヲ失シ止ムナク「オンゴール」ニ引帰シ 9/78i ヲ併セ八日十時ヨリ「ケトバ」ニ対シ正面攻撃ヲ

実施ス

2 「ケトバ」ノ敵ハ約五〇ナルモ頑強ニシテ夜ニ入ルモ退却セズ九日私
曉ノ攻撃ニ依リ同地ヲ占領引続キ九日夕ヨリ「イサリバ」ニ対スル攻撃
ヲ実施ス

3 「イサリバ」ニハ敵約一中アリテ歩二三九主力ソ熾烈ナル火力ニ対シ
敵亦多数ノ重火器^①及地雷等ニ依リ頑強ニ抵抗セシモ十日二時遂ニ退却
セルヲ以テ歩二三九ハ「コロバ」ニ進出

同地ニ於テ一中ヲ「ウリギナ」方向ノ敵情掃蕩ニ派遣セリ

4 支隊司令部及歩二三九主力ハ十一日夕¹⁶²「ケセワ」ニ到達セシガ同地ニ
ノ敵ハ既ニ退却セルモ九日以来第一大隊ニ対スル敵ノ砲撃及爆撃ハ依然
熾烈ニシテ九日十一時敵約三十機ハ川東大隊ヲ銃爆撃同隊又之ニ応戦遂
ニ敵機ニヲ撃墜セルモ我方亦彈藥一万発ヲ使用爾後ノ戦斗ニ支障ヲ来ス
ニ至レリ

5 十三日九時二ノ三〇〇ノ敵ハ¹⁶²「ケセワ」北方山系南麓地区ニ陣地構

築中ノ斥候報告ニ接ス

6 支隊長ハ該敵ヲ攻撃スルニ決シ十二時各大隊長ヲ集メ歩七八長ヲシテ

左ノ如ク指導セシム

(一) 第一大隊(5/80¹属)ハ山地方向ヨリ東南面シテ攻撃

(二) 第三大隊ハ西方ヨリ山麓ニ沿ヒ攻撃

(三) 攻撃開始ハ十三日十八時

7 各隊ハ直チニ攻撃ヲ準備シ二十一時一斉ニ攻撃ヲ開始第四陣地迄一学

ニ突破シ敵ハ東方ニ潰走ス

8 戦斗經過ノ概要附図第三ノ如シ

9 戦果及損害

敵 遺棄死体一〇〇ヲ下ラズ  二  八一〇 弾薬糧秣約五屯

被服多数

我 戦死四〇 戦傷五〇

10 敵ハ本戦斗後著ルシク消極的トナリ「ケセワ」方面ヨリ「マнда」方

向ニ対スル敵ノ進出公算少トナレリ

五 第四期中野集団收容作戰（自昭和十九年一月二日至同年三月十五日）

一 戰鬥前彼我態勢ノ概要

1 十二月初旬以来敵艦船ノ「マ」ダン」沖游~~浅~~ハ逐次活発トナリシガ一月二日米第三十二師団ハ艦船七ヲ以テ「サイドール」ニ上陸直ニ飛行場ヲ設定中ナリ

2 「フィツシュハーヘン」ニ於テ敢斗セル第二十師団ハ軍命令ニ依リ「ガリ」ニ集結中ニシテ敵ノ「サイドール」上陸ニ依リ海岸道及海上補給路ハ完全ニ遮断セラル

3 師団主力將兵ノ体力ハ極度ニ衰弱シアリテ山地道転進ノ困難性ヲ予想セラル

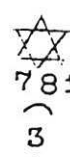
4 第五十一師団ハ「ガリ」附近ニ位置シアリシカ「ラエ」地区戰鬥ノ衰弱未ダ回復シアラズ山地転進ノ余儀ナキニ至ル

5 茲ニ於テ軍ハ中井支隊ヲシテ中野集團（51I 20I 主力）ノ收容ニ任ゼシム

二 戦斗經過ノ概要

1 中井支隊ノ編組

支隊長 中井少将



II(一)

11 12

III 2391

一大

41BA

I(一中 欠 1A属)

26A

1/3 / 20S

2FL

2 / 37PS

2 部署ノ大要

(一) 方針

支隊ハ主力ヲ以テ「ビリヤウ」「アツサ」附近ニ前進中野集團ノ転
進路ノ掩護ニ任ズルト共ニ有力ナル一部ヲ以テ「ミンデリ」「エリ
マ」間ノ海岸要点ヲ占領シ敵ノ上陸ニ備ヘシム糧秣ハ兵力及土民ヲ最
大限ニ使用シ成シ得ル限り多クノ糧秣ヲ最近收容地ニ集積スルニ努ム
(1) 森永大隊 (III 2391) ハ依然「ビリアウ」ヲ確保シ「サイドル」ノ敵
ノ西進ヲ阻止ス

(2) 川東大隊 (I 781) ハ「マイパン」以東中野集團転進路ノ要線ヲ占

領シ「サイドル」ノ敵ヲ南方ヨリ牽制ス

(3) 小池大隊(Ⅲ/78¹)ハ「ミンデリ」以西「マラゲン」ニ至ル海岸線

ノ要地ヲ占領敵ノ上陸ニ備フ

(4) 執行大隊(Ⅰ/41^A)ハ「マラゲン」「ボング」間ヲ占領シ敵ノ上陸

ニ備フ

小池、執行兩大隊ハ併セテ担任区間ノ糧秣坦送

(5) 陰山大隊(Ⅰ/26^A 1^A/78¹)ハ依然「エリマ」―「マレ」間ノ海岸警備

(6) 独工三七ノ一中隊ハ「モットー」川ノ架橋及坂進路ノ補修

(7) 2^{FL}ハ「シンゴール」―「マイバン」間ノ糧秣坦送

(8) Sノ一中隊ハ「マイバン」―「カブミ」間ノ糧秣坦送

(9) 支隊司令部經理班ハ「アツサ」附近ノ土人ノ掌握及之グ利用ニ努

ム

3 一月九日「ビリアウ」森永大隊ノ報告ニ依レバ約一中隊ノ敵ハ「ビリ

アウ」我陣地ニ攻撃シ来ルモ撃退ス 敵ハ「モットー」川対岸ニ陣地構

築中ナル報ニ接ス

4 支隊長ハ右ニ基キ各隊ヲシテ一月十日前後出発セシム

5 当時「マダン」地区ハ雨期ニシテ各河川ノ増水著ルシク加フルニ昼間
敵機ノ跳梁甚シク部隊ノ昼間行動ハ支障ヲ受ケ行軍ノ渋滞甚シク河川ニ
依ル損害毎日二、三名ヲ下ラズ

6 司令部ハ一月十七日「アツサ」ニ到着各隊ハ二十日前後夫々配備ニ就
ケリ

7 川東大隊ハ二十五日「カブミ」「イツサン」ヲ占領当面ノ敵情搜索ヲ
開始ス

8 然ルニ歎喜~~ズ~~方面ノ敵ハ「グンビ」ノ敵ニ呼応シ一月十九日来猛攻ニ
出デ屏風山第六中隊ハ玉碎スルニ至ル(軍ヨリ二十一日電報)

9 支隊長ハ取不敢第七中隊ヲ「サイバ」ニ派遣松本支隊長ノ指揮ニ入レ
第三大隊主力モ亦松本支隊長ノ指揮下ニ復帰セシムル如ク意見具申セル
モ軍司令官ノ許可スル所トナラズ

欽喜^卷ハ一月二十二日占領セラレ我方主力「サイバ」一部ハ「カベナウ」川ニ沿ヒ後退セリ

10 支隊長ハ「アツサ」附近土民ノ親日的ナルヲ知り經理班ヲシテ極力物資及勞力ヲ提供セシムルニ勞力毎日一〇〇名物資又一〇〇名ニ対シ充分ニシテ中野集團ニ対シ貢獻セン所甚大リ

11 二十五日中野集團ハ「ガリ」ニ於テ糧食ニ升ヲ受領「カプトモン」ヲ經テ51Dハ山地道ヲ20Dハ海岸道―小地道ノ中間ヲ天々一月二十日前後出發セルノ報ニ接ス

12 中井支隊長ハ中野集團將兵ノ衰弱ヲ憂慮シ各隊ヲシテ左ノ如ク實施セシム

(一) 露營設備及露營地ヘノ誘導標示

(二) 河川ノ渡河要領標示

(三) 対空曝露地ノ標示

(四) 物資ノ集積(特ニ通過兵ニ対シ椰子一人一コ支給)

13

一月二十五日以来敵ノ活動活発トナリ「グライダー」ノ観測ニ依ル敵迫撃砲ハ彈着正確ニシテ「マイバン」「カブミ」ノ部落モ砲撃セラレ迂回路設定ノ余儀ナキニ至ル

14

一月二十七日敵約一中ハ舟艇ニ依リ「ビリアウ」ノ我森永陣地ニ対シ攻撃シ来ル

15

森永大隊ハ敵ノ渡河完了ヲ待チ全火カラ発揚急襲セシ為敵ハ同章狼敗左岸ニ於テ敵死ルルモノ七十余名遁走セルモノ僅カ二十五六名ヲ過ギズ爾後敵ノ攻撃ハ消極的トナリ僅カニ「ビリアウ」「シンゴル」間海岸道ヲ砲撃スルノミトナレルモ逐次方面ニ対シ活発ナル行動ヲ開始シ「シララリン」北方地区及「テシ」ニハ各一中隊アリテ砲撃ニ膚接シ来攻セルモノ退セリ

16

斉藤義勇隊ハ一月末「ヨガヨガ」ニ於テ中野集団先遣堀江參謀ト連絡成リ^{51D}20Dノ順序ニ集団ハ「カブトモン」「ノコボ」「ヨガヨガ」ヲ経テ「アツサ」ニ至ルヲ知ル

17

爾後連日中野集團ハ「アツサ」ヲ通過セルモ疲労甚シク遲留患者多数アリ歎喜^シ及「サイドル」方面ノ敵情活発化セバ近ク「マダン」地区ニ敵進入ヲ予想セラルルヲ以テ大部ノ収容ヲ終了セバ主力「エリマ」地区ニ集結敵ノ上陸ニ備フル為予メ左ノ如ク部署ス

(一) 主力ハ概ネ二月下旬「エリマ」地区ニ集結

(二) 一部(義勇隊及酒井隊)患者収容隊トナリ「ヨガヨガ」ニ位置シ「マトコ」ヲ經テ「ボング」ニ進出スル如ク患者ニ指導セシム

(三) 中井支隊撤退後ハ第四十一師団ト警備ヲ交代ス

18

三月五日中野集團ノ「アツサ」通過モ予定ノ如ク一万ニ達セルヲ以テ支隊主力ハ行動ヲ開始シ患者収容隊ハ引続キ三月十四日迄「ヨガヨガ」ニ在リテ患者約二八〇ヲ収容セリ

19

本戦斗經過概要附図第三ノ如シ

其四「マダン」「ハンサ」「アイタベ」地区ニ向フ転進

(自昭和十九年一月初旬
至同年四月下旬)

一 全般状況

- 1 第二十師団ハ昭和十八年十二月以降「フィンシ」方面ヨリ北進スル敵ヲ逐次阻止シツツ一月一日頃概ネ「シオ」「カラサ」地区ニ兵力ヲ集結中
- 2 第五十一師団ハ十月「ラエ」ヨリ「サワケツト」山ヲ越エ「キアリ」附近ニ到リ戦力ノ恢復ニ努クツツ主力ヲ以テ「キアリ」「シオ」「ガリ」地区ノ警備ニ任ジアリ
- 3 中井支隊ハ歛喜峯及「ケセワ」附近ノ戦斗ヲ終ヘ南山峯附近ニ在リテ当面ノ敵ト相對峙シアリ
- 4 第四十一師団主力ハ「マダン」地区ノ防衛ニ任シアリ
- 5 敵空中勢力ハ絶対優勢ニシテ暴露セル昼間行動ハ至難ナリ

二「マダン」「ハンサ」地区ニ向フ転進（自一月五日至三月中旬）

1 一月二日六時敵ハ（米軍第三十二師団）巡洋艦五駆逐艦一六小型輸送船三〇大発四〇ヲ以テ「ゲンビ」岬「ガリ」西方約四十浬附近ニ上陸セリ

2 歩七九工二〇独工三三及衛生隊主力ハ二日夕「キナラクナ」出発「レンバガン」ニ前進中師団司令部ハ三日「シオ」ニ到着

海岸道ヲ前進セル歩八〇砲二六輜重隊等モ逐次「シオ」附近ニ集結中

3 五日師団ハ敵上陸ニ依リ「シオ」附近確保ノ任ヲ終了シ速カニ「ガリ」
「マダン」ヲ経テ「ハンサ」地区ニ転進ヲ命ゼラル

4 六日先遣隊（歩八〇砲二六工二〇基幹）ハ「シオ」附近出発「ガリ」
ニ向ヒ急進シ七日夕「キアリ」附近ニ到達ス「レンバガン」附近ニ進
出セル部隊ハ引続キ「クワマ」河河口附近ニ前進シ師団主力ニ合セシム
師団司令部（歩七九ノ一大隊統行）ハ七日「シオ」出発「ガリ」ニ向ヒ
前進シ八日早朝「キアリ」ニ到着ス

5

師団、吉川大隊（I/801）ヲ以テ「ガリ」西方約八軒附近海岸道ノ要線ヲ占領シ師団主力ノ「ガリ」附近ノ集結及「ガリ」西側附近ヨリ山地道ニ向フ転進ヲ掩護セシム

二十二日「ガリ」ニ対スル潜水艦ノ緊急輸送ノ揚陸ニ成功シ「ガリ」附近所在部隊ニ対シ約一週間分（約二升）ノ糧秣ヲ交付スルヲ得タリ

師団ハ第五十一師団長中野中将ノ指揮下ニ入り「ガプトモン」附近ヨリ

新ニ山地道ヲ啓開シ「シンダマ」附近ニ転進スルコトトナリ歩八〇及工一

二〇ヲ以テ偵察及作業に任ゼシメタルモ断崖錯雑地ニシテ爾後ノ行動極

メテ困難ナルヲ以テ之ヲ中止シ第五十一師団ニ続行シ転進スルニ決ス

6

転進ノ状況ハ寒冷ニシテ薪木ナク給水不能ナル稜線道アリ急造梯子ニ依リ登降スル約五〇米ノ断崖アリ数人ノ幫助ニ依リ辛フジテ渡河シ得ル

激流奔端アリ泥濘膝ニ及ブ湿地道アリ約二軒ニ亘リ遮蔽シ得ザシ海岸

道アリ沿道地区ニ物資皆無ナル所アリ敵性土民ノ妨害アリ爆撃及砲撃ア

リ

行軍ハ午前中概ネ晴天ニシテ行軍（一日行程約四、六軒）ニ適スルモ午降必ズ降雨アリ宿营地ノ設定及現場物資ノ収集ハ多大ノ不便困難ヲ受ケタリ

7 二月十五日中井支隊ノ掩護ノ下師団司令部ハ「アツサ」ニ到着ス師団主力ハ其後方ヲ続行シ最後尾梯団ハ二十一日到着ス

8 二十日師団長ハ猛頭山軍司令部ニ到着ス

師団主力ハ依然陸路前進中ニシテ師団ハ「マダン」附近ニ於テ到着部隊毎部隊ヲ整理シタル後逐次「ハンサ」地区ニ前進スルニ決ス

「マランダ」「ハンサ」間前進計画ノ大要左ノ如シ

(一) 前衛（二大⁸⁰ⁱ一大^{26A}一中^{20P}）ヲ以テ三月一日「ムギル」出発隨時戦闘ヲ準

備シツツ「ハンサ」ニ向ヒ前進ス

(二) 本隊ヲ第一梯団（ト²⁰⁹主力二大⁷⁹ⁱ33PS）第二梯団（二大⁷⁹ⁱ21LM S 主力）第三

梯団（二大^{26A}主力二大⁸⁰ⁱ）第四梯団（二大^{20T}其他）二区分シ各々概ネ一日行程ヲ

以テ前衛ニ続行ス

(三) 右ノ外「エリマ」「マダン」「ウリンガン」ニ各々連絡隊ヲ残置ス

(四) 全行程ハ「マダン」ヨリ約十五日

9 前衛及師団司令部ハ三日「ウリンガン」ヲ通過シ八日西「ボギア」ニ到着ス

部隊ノ行軍ハ降雨ニ依ル橋梁ノ流失等ノ為相当妨害セラレタルモ逐次「ハンサ」「ボギヤ」地区ニ集結シ該地区ノ警備ニ任ズ

10 中井支隊ハ中野集団收容作戰ヲ終了シ三月二十四日「ボギア」ニ到着シ師団ノ隷下ニ復帰ス

三 「アイタベ」地区ニ向フ転進（自三月中旬至四月中旬）

1 師団ハ三月初旬以降「ハンサ」地区ノ防衛ニ任ジツツ部隊ノ整理戦力ノ恢復ニ任ジアリタル処「アイタベ」地区ノ防衛ヲ命ゼラレ四月中旬ヨリ主力ヲ以テ陸路ヲ一部ヲ以テ舟艇ニ依リ「ウエツク」「ボイキン」ヲ経テ「アイタベ」ニ向フ前進ヲ開始ス

2 陸路機動ハ「ラム」「セビツク」両河ノ渡河及其河口附近ノ大湿地帯通過ノ為日量約五〇名ニ過ギズ相当渋滞遅延シアルヲ以テ中井機動促進隊(△大⁸⁰¹2^{QP}主力²FL其他)ヲ以テ「ハンサ」附近ヨリ「セビツク」左岸地区迄江本機動促進隊(20S DTL其他)ヲ以テ其以西「ウエワク」迄ヲ担任セシメ機動ノ促進ニ努メ配置以後日量約二五〇名ニ達シ概ネ順調ニ実施セラレタリ

3 四月二十二日敵ハ「アイタベ」「ホルランジャ」附近ニ上陸ス
4 師団戦斗司令所ハ舟艇ニ依リ四月二十五日「ハンサ」出發二十八日

一〇〇〇「テレブ」岬沖ニ於テ敵魚雷艇三ト遭遇シ交戦後二隻沈没シ師団長片桐中将參謀長小野大佐以下司令部機関ノ中枢人員多數戦死ス
師団ノ先頭梯団ハ「ボイキン」附近ニ爾余ノ部隊ハ之ニ続行シ各機動促進隊ハ之ヲ撤収シ「ボイキン」「ウエフク」「セビツク」河附近ニ於テ縦長ニ散任シアリ

其五 猛号作戰（自昭和十九年五月初旬至同年八月中旬）

一 全般ノ状況

一 四月二十二日敵ハ「ホルランジャ」及「アイタベ」ニ上陸セリ

二 師団ハ「ハンサ」地区ヨリ「アイタベ」ニ向ヒ前進中ニシテ小池搜

索隊（^{III}約一二〇名）ヲ以テ「マルジツブ」附近ニ歩八〇ノ主力ヲ

以テ「ボイキン」附近ニ爾余ノ諸隊ハ「ボイキン」「ウエワク」及「

セビツク」河附近ヲ縦長ニ分散シ追及中ナリ

師団長ハ四月二十八日「テレブ」沖ニテ戦死セルヲ以テ既ニ「ボイキ

ン」ニ到着シアリシ歩兵団長中井少將師団長代理トナル

師団將兵ノ体力ハ「フインシ」附近ノ戦斗ニ引続キ長途困難ナル機動

ノ為相当ニ減耗シアルモ志氣旺盛ナリ

三 「アイタベ」地区ノ警備ニ任ジアリタル部隊（師団ノ補充隊約四五

〇名ヲ含ム）ノ状況ハ不明ナリ

四 軍ハ先ヅ「アイタベ」地区ニ上陸セル敵ヲ攻撃スルニ決ス

第四十一師団ハ逐次「マダン」「ハンサ」附近ヨリ「ウエワク」附近ニ集結中

第五十一師団ハ「ウエワク」地区ノ防衛ニ任ジアリ
制空權ハ全ク敵手ニ入り敵機ノ跳梁ハ甚ダシキモノアリ

二 「ウラウ」附近ノ戰鬥（自五月十五日）

1 師団ハ軍ノ先遣兵团トシテ「ウラウ」附近ノ要線ヲ占領シ攻撃ノ目的ヲ以テ「アイタベ」方面ノ敵情地形ヲ搜索スルト共ニ軍ノ集中掩護ヲ命セラル

2 「アイタベ」附近ニ上陸セル敵ノ一部砲数門ヲ有スル（約三〇〇名）
ハ海岸道ヲ逐次東進シ四月二十八日「ウラウ」附近ニ進出シ其ノ斥候ハ「ダンダヤ」附近ニ在ル小池搜索隊前面ニ出沒ス「ウラウ」附近ニ進出セル敵ハ兵力約一大隊MA一迫撃砲約五門ヲ有スルモノノ如シ

3 師団ハ小池搜索隊ノ外逐次掌握セル⁸⁰ⁱ主力及砲兵ノ一部ヲ戰場ニ急

行セシメ先ヅ「ウラウ」附近ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス

4 十二日師団戰鬥司令所ハ「ダンダヤ」西南方約三軒附近ニ進出ス

戰鬥指導要領左ノ如シ

(一) Ⅲ⁷⁸ⁱ ハ一部ヲ以テ海岸道ヲ守備セシメ主力ヲ以テ「アメリカ」道

(海岸ヨリ約二、四軒離隔シ海岸道ニ平行セル徒歩道)ヲ前進シ「ウラウ」川以東地区ニ在ル敵ノ右側ヲ攻撃ス

(二) 歩八〇主力ヲ以テ「ウラウ」川以西主トシテ「ウラウ」附近ノ敵ヲ攻撃ス

5 攻撃部隊ハ敵ニ察知セラルルコトナク行動シ十四日夫々当面ノ敵ヲ急襲シテ之ヲ海岸ニ圧迫シ舟艇ニ依リ退却スル敵ノ大部ヲ捕捉シテ之ヲ殲滅シ相当ノ戦果ヲ収メタリ

三 「ヤカムル」附近ノ戰鬥(自五月十六日)

其一 東部「ヤカムル」附近ノ戰鬥(自五月二十四日)

1 敵ハ依然「ヤカムル」附近ニ位置シ其ノ一部ハ海岸道及金川村(「

ヤカムル」東南方約三軒台上）附近ニ在リ

2

師団ハ引続キ「ヤカムル」附近ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス

戦斗指導要領左ノ如シ

(一) 歩八〇ヲ以テ海岸道及其南側「アメリカ」道方面ヨリ戸里川以東

ノ敵ヲ攻撃ス

(二) 歩七八ヲ以テ山脚道ヲ前進シ戸里川以西¹⁶³「ヤカムル」附近ノ敵

ヲ攻撃ス

(三) 砲兵隊ハ金川村附近ニ陣地ヲ占領シ主トシテ「ヤカムル」附近ノ

敵砲兵ヲ求メテ射撃スルト共ニ敵ノ海上機動ヲ妨害ス

(四) 攻撃開始ノ時機ハ四月二十五日黎明ト予定ス

3

第一線部隊ハ敵ノ斥候群ヲ駆逐シ或ハ敵ノ輸送部隊ヲ急襲シツツ逐次敵ニ近接シテ攻撃準備中

二十二日以来海岸道方面ノ敵ノ行動活発トナリ二十三日約一五〇ノ敵ハ「バラコビツク」附近ニ在ル我海岸警備隊（歩八〇第五中隊）正面

ニ攻勢シ来ル

警備隊ハ寡兵克ク之ヲ拒止シ歩八〇主力ハ直チニ敵ノ右側背ヲ攻撃ス
ルヤ二十四日戸里川以東地区ニ在ル敵ハ大ナル戦斗ヲ交ヘズシテ西方
ニ退却ス

4

戦果及損害左ノ如シ

(一)

戦果

敵ノ遺棄死体四三 負傷(確認セルモノノミ)約三〇 兵器被服

糧秣若干

(二)

我損害

戦死一六(将校二) 戦傷一六(将校一)

1

其二 西部「ヤカムル」附近ノ戦斗(自五月二十五日
至六月十六日)

敵ハ「アイタベ」方面ヨリ海岸道及舟艇(五月三十一日大発七隻)
ヲ以テ「ヤカムル」附近ニ逐次兵力ヲ増加シ部落ヲ利用シテ陣地ヲ

構築ス

師団ハ引続キ此ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス

戦斗指導要領左ノ如シ

(一) 歩兵団長(五月十八日三宅少将着任)ノ指揮ノ下ニ海岸道及No3「

ヤカムル」南側ヨリ歩八〇(砲一大(一門)属)ヲ以テ之ニ連繫シ

「ヤカムル」西南方ヨリ敵ノ側背ニ向ヒ歩七八(一大隊欠)ヲ以テ

夫々当面ノ敵ヲ攻撃ス

(二) 戸里川右岸海岸道附近ニ山砲及聯隊砲各一門ヲ配置シ敵ノ舟艇航

行ヲ阻止ス

(三) 砲兵隊ハ主力ヲ以テ「ヤカムル」東南方台地ニ陣地ヲ占領シ主ト

シテ海岸道及海上方面ヨリスル敵ノ増援ヲ阻止ス

(四) 攻撃開始ハ六月二日仏曉ト予定ス

2

第一線部隊ハ夫々敵ニ近迫シ六月二日攻撃ヲ開始セルモ敵陣地ハ既ニ掩蓋ヲ設備シ陣地直前ニ障礙物ヲ構築シアリテ戦斗進捗セズ歩兵団

ハ攻撃部署ノ一部ヲ変更シ「ヤカムル」南側地区ニ兵力ヲ集結シ敵陣地前約三〇、六〇米ニ攻撃準備位置ヲ推進シ各種重火器及配属砲兵ヲ第一線ニ進メ六月四日黎明火砲ノ急襲射撃及特攻班ノ掩蓋銃座爆破（歩七八第二大隊正面ニハ八個アリ）ニ引続キ敵陣内ニ突入敵ヲ海岸ニ圧迫シ殆ンド大部ヲ撃滅ス

3 敵約二〇〇ハ海岸道方面ヨリ四日攻撃部隊ノ左側ニ近迫セルモ撃退ス

六日「ヤカムル」附近ノ掃蕩ヲ完了シ歩八〇主力ヲ以テ海岸道及其南側地区歩七八ヲ以テ戸里川上流約三軒附近ニ夫々集結シ西面シテ当面ノ敵情地形ヲ偵察ス

戦果

遺棄死体多数鹵獲 L M 三 M G （水冷）二 弾薬手榴弾糧秣若干

我方ノ死傷約一〇〇

4 師団ハ海上ヨリスル敵魚雷艇ノ陸岸射撃及敵ノ航行妨害ノ為三、五

料毎ニ山砲又ハ機關砲（銃）ヲ配置シ海岸警備隊トナシ積極的ニ我威
力圏ニ進入セル敵艇ニ対シ射撃シ以テ其ノ行動ヲ阻止スルニ努ム
火砲ハ昼間掩壕内又ハ海岸ヨリ若干離隔セル「ジャングル」内ニ秘匿
シ夜間海岸ノ広射界陣地ニ進入セシムル如クス

四 「アファ」附近ノ戰鬥（自五月二十五日
至六月十九日）

1 師団ハ「アイタペ」附近ノ狀況ヲ速カニ搜索スル目的ヲ以テ「ヤカ
ムル」附近ノ戰鬥一段落スルト共ニ歩七八第一大隊（川東搜索隊）ヲ
「チナペリ」附近ニ派遣スルニ決ス

2 搜索隊ハ五月二十五日山脚地区「ジャングル」ヲ伐開シツツ前進シ
五月三十一日板東川ニ於テ敵ノ警戒部隊ノ妨害ヲ排除シテ同河ヲ渡河
シ左岸⁵⁶高地附近次デ江東川左岸⁴³高地附近ニ進出シ有力ナル斥候數
組ヲ「チナペリ」及「アイタペ」方面ニ挺進潛入セシメ該地附近ノ敵
情地形ノ偵察ニ努ムルト共ニ⁷⁸高地及江東川上流地区附近ノ敵部隊ヲ

隨所ニ奇襲攻撃シ擾乱ス

3 搜索隊ニ対スル補給ハ歩七八ノ一部ヲ以テ銳意努力セルモ補給点ニ於ケル前送量僅少ナルト長途補給路ノ担送力十分ナラザル為意ノ如ク実施シ得ズ

搜索隊ハ現地物資ノ収集ニ努メタルモ殆ンド利用シ得ベキモノナク且敵中ニ在リテ行動自由ナラザル為戦力逐次消耗スル状態トナリタルヲ以テ十八日板東川右岸ニ転進スベキヲ命ズ

4 六月十九日搜索隊ハ敵ニ察知セラルルコトナク四小原東方附近ヨリ板東川ヲ渡河シ右岸地区ニ集結ス

五 板東川附近ノ戦斗（自昭和十九年七月中旬）

第一次（自七月十五日）

1 軍ハ「ア」号作戦ヲ計画シ乾坤一擲ノ決戦ヲ企図ス
師団ハ之ガ為「アイタベ」附近ノ敵情地形ヲ搜索シ敵ノ一部ヲ撃破

シテ敵ニ触接シ後方兵团ノ進出ヲ掩護スルト共ニ戦列部隊ノ大部ヲ増
加シ糧秣彈藥ノ前送集積ニ努力セルモ既ニ兵員ノ体力ノ減耗ハ行動ノ
敏速ヲ許サズ加フルニ「ジャングル」内ノ錯雜セル泥濘路ノ担送ハ困
難ニシテ日量補給ニスラ円滑ヲ欠キタル状況ナルモ各部隊ノ努力ニ依
リ七月上旬末迄ニ各人概ネ二升ノ糧秣ヲ携行シ得該糧秣ヲ以テ「アイ
タペ」攻撃作戦ヲ実施スルコトナレリ

2
板東川左岸海岸ヨリ約十軒上流ニ亘ル間ニ敵ハ逐次兵力ヲ増加シテ
配備ヲ強化シ一連ノ陣地トナシ輕易ナル障碍物（一条）ヲ連續シ処々
ニMG座及LM砲兵陣地ヲ設備シ且連日板東川左岸地区ニ対シ諸所ニ擾乱
射撃ヲ実施ス

左岸地区ノ警戒ハ嚴重ニシテ監視網ヲ突破シテ後方地区ニ潜入シ該方
向ノ情況搜索ハ相当困難トナリタリ

3
軍ハ板東川附近ノ敵ハ有力ナル前進部隊（兵力約三大隊）ト判断シ
「アイタペ」敵本拠ニ対スル攻撃ノ前提トシテ一挙神速ニ戦果ヲ収ム

ルヲ必要ト認メ先ヅ第二十師団及歩二三七ヲ以テ七月十日攻撃ヲ決行
スルニ決ス

軍命令ニ基ク師団ノ戦斗指導要領左ノ如シ

(一) 方針

師団ハ敵陣地ノ中央ヲ急襲突破シ一部ヲ以テ深ク江東川ニ主力ヲ
以テ5678高地ヨリ「アファ」附近ノ敵ヲ後方ヨリ攻撃シ之ヲ捕捉撃
滅ス

(二) 部署

(1) 右翼隊 (長 $\frac{801}{2}$ 33Ps 戦斗救護班一)

左翼隊 (長 $\frac{201B}{781}$ 2 20P)

(2) 両翼隊ハ七月十日二二〇迄ニ川中島附近板東川右岸ニ攻撃ヲ

準備シ同二三〇〇攻撃ヲ開始シ一挙ニ敵陣内ニ突入シ速力ニ先ヅ

四小原附近

(右第一線) 及其南側附近 (左第一線) ニ進出ス

重点ハ左翼隊正面トス

(3) 爾後右翼隊ハ⁴₃高地附近ヲ經テ「チナベリ」北側附近ニ向ヒ攻

撃前進ス

左翼隊ハ板東川左岸上流地区ノ敵ヲ左側背ヨリ席捲撃滅シタル後
概ネ「アフア」―「チナベリ」道ニ沿ウ地区ヲ「チナベリ」附近

ニ向ヒ攻撃前進

(4) 砲兵隊ハ主力ヲ以テ板東川右岸ニ陣地ヲ推進シ兩翼隊ノ渡河ニ

直接協同シタル後左翼隊ノ後方地区ヲ前進主トシテ左翼隊ノ戦斗

ニ協力ス

(5) 攻撃開始ハ奇襲ヲ旨トスルモ状況ニ依リ強襲ヲ予期ス

歩二三七八右翼隊ノ右翼ニ連繫シ攻撃ヲ準備シ兩翼隊ト同時ニ攻

撃ヲ開始シ「パウフ」附近ノ敵ノ右側ヲ索メテ攻撃ス

4

十日部隊ハ概ネ戸里川附近ヨリ行動ヲ開始シ穩密ニ攻撃準備位置ニ

就ク二三〇〇BARIAbiaノ急襲一斉射撃(五分間)トMGノ支援射撃ノ下部

隊ハ板東川ヲ渡河シ攻撃前進ヲ開始ス

然ルニ我ガ攻撃ヲ察知スルヤ敵火炮亦一斉ニ渡河点及板東川右岸地区ニ猛烈ナル集中射撃ヲ実施シ部隊ハ弾巢内ニ入り一瞬ニシテ修羅場ト化シ死傷続出砲兵及重火器ノ大部ハ破壊セラル

十一日〇一三〇両翼隊ハ遂ニ強行渡河ニ成功シ左岸陣地ノ敵ヲ掃蕩シテ両翼隊共四小原附近ニ進出シ十一日朝 50高地北側附近ニ到リ部隊ヲ集結整理ス

左翼隊左第一線タル I / 78i ハ特ニ熾烈ナル敵ノ集中火ヲ受ケ部隊四散シ損耗甚シク遂ニ渡河不能トナリ十一日攻撃準備位置附近ニ於テ部隊ヲ整理シ爾後師団直轄トナル

5 十二日朝左翼隊ハ敵部隊50高地附近ヲ後退中ナルヲ発見直チニ一部ヲ以テ蕩蕩ヲ実施スルト共ニ主力ハ敵ノ退路ヲ遮断スル如ク江東川附近ニ進出シ七軒屋方向ニ対スル爾後ノ前進ヲ準備ス

6 七月十五日師団ハ両翼隊ノ戦力著ルシク低減セルヲ以テ左翼隊長ヲ

シテ右翼隊ヲ併セ指揮シ三宅部隊トナシ⁷⁸高地附近ヨリ「アフア」附近ニ残存セル敵ノ左側背ヲ索メテ攻撃シ之ヲ各個ニ撃破スル如ク処置ス

敵ハ我渡河時概ネ潰走セルモ兩翼隊ノ陣内突入後十三日頃ヨリ再ビ逐次海岸道方面ヨリ兵力ヲ反転シテ突破孔ヲ閉塞シ旧左岸陣地ニ就キ配備ヲ強化シ二十日頃ニハ其兵力約一ヶ師団ト判断セラル

6 三宅部隊ハ逐次兵力ヲ桜川五軒家附近ニ集結シ十七日薄暮^{III 78i}ヲ以テ「アフア」ニ対スル攻撃ヲ実施シ該地附近ノ敵約三〇〇ヲ撃退^{II 80i}セルモ攻撃部隊同地北方地区ニ轉移シ部隊ヲ整理中敵ハ再ビ「アフア」及「ツル」陣地ニ復旧シ該地附近ヲ頑強ニ固守スルニ至レリ

7 三宅部隊ハ十八日昼再ビ攻撃ヲ実施セルモ敵ノ抵抗頑強ニシテ成功スルニ至ラズ部隊ハ十七日以降一粒ノ米ナク附近ニ食スベキモノ僅カニ「ジャングル草」「ジャングルフキ」及木ノ実ニ過ギズ加フルニ連日ノ降雨ト連続ノ機動奮戦ニ依リ將兵共ニ疲労其極ニ達ス

第二次 (自七月十六日
至八月月中旬)

1 軍ハ第一次攻撃ノ状況ニ鑑ミ七月十四日「アイタベ」ノ敵本拠ニ対

スル攻撃ヲ中止シ全力ヲ挙げ板東川附近ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス

重点ヲ敵陣地ノ最右翼タル「アフア」方面ニ指向ス

師団ハ板東川左岸敵中ニ在ル三宅部隊トノ通信連絡極メテ困難トナリ

タルヲ以テ戦斗司令所ヲ板東川左岸地区ニ推進シ且戸里川上流地区ニ

集結シアリタル歩七九ヲ「アフア」南方ヨリ渡河シ戦斗ニ加入セシメ

三宅部隊ト共ニ直接其戦斗ヲ指導スルニ決シ十六日坂井川上流ヲ出発

シ歩七九第一大隊及久保砲兵集成中隊(約六〇名BA一門)ト共ニ不屈

山ヲ経テ十八日「アフア」南方約三軒板東川畔ニ進出シ同地ニ於テ歩

七九主力ヲ掌握ス

二十日「アフア」西南方地区ニ於テ三宅部隊ヲ掌握ス

2 三十一日林田部隊及三宅部隊ヲ以テ陣前至近距離ニ攻撃ヲ準備シ十

六時ヲ期シ攻撃ヲ実施シ林田部隊ハ「ツル」陣地ノ右翼ヲ突破シ其背

後ニ進出セルモ敵ハ依然頑強ニ抵抗セルヲ以テ敵中ニ孤立シ四周ヨリ近接スル敵ヲ逐次撃破シ遂ニ「ツル」陣地ヲ崩壊セシム
三宅部隊ノ第一線モ亦一部敵陣地ニ進入セルモ爾後ノ戦斗進捗セズ敵前約五〇米ニ敵ト相對峙シ機ニ乗ジ攻撃ヲ反覆シ逐次敵陣地ヲ蚕食セルモ我が損害モ累加シ火砲火器ノ破損彈藥ノ僅少給養ノ窮乏（一日約一合ノ生米ヲ嚙ル狀況ナリ）ニ依リ戦況益々悲惨トナルモ將兵一同捨身敢斗必勝ノ信念ヲ堅持シテ終始攻撃ヲ以テ優勢ナル敵ヲ常ニ受勳ニ陥入シアリ

3 師団ノ右翼ニ連繫シ板東川左岸陣地ヲ突破セル歩二三七八「パウブ」西南方地区ニ進出シ当面ノ敵ヲ攻撃セルモ戦斗予期ノ如ク進捗セズ彈藥糧秣欠乏シ且敵ハ板東川左岸旧陣地ニ反転セル為後方トノ連絡杜絶シ敵中ニ孤立ノ状態トナリタルヲ以テ師団ハ誘導搜索斥候ヲ江豊川方面ニ派遣シ遂ニ之ト連絡ヲトリ七月二十五日「アフア」西南方地区ニ誘導シ第四十一師団主力ニ復歸セシム

4 齊藤義勇隊（齊藤大尉以下高砂義勇兵約四十名基幹）ハ七月中旬坂

東川上流ヨリ主トシテ山脚附近ヲ穩密前進シ「チナベリ」附近ヲ經テ「アイタペ」附近ニ挺進潛入シ同地飛行場及敵複廓陣地帯ノ狀況竝該地附近ノ地形河川ノ狀況等ヲ詳細ニ偵察シ七月二十三日師団戰鬥司令所ニ帰還ス爾後專ラ司令部ノ警戒搜索連絡ニ任ズルト共ニ現地物資ノ收集ニ任ジ克ク其特有ノ技能ヲ發揮セリ

5 第四十一師団ハ七月二十八日迄ニ逐次「アフア」南方渡河点ヨリ右岸ニ進出シ師団ノ右翼ニ連繫シ板東川左岸ニ沿フ地区ノ敵陣地ヲ攻撃ス

師団ハ新ニ歩六六ノ配属ヲ受ケタルヲ以テ二十六日頃ヨリ之ヲ三宅部隊ノ左翼方面ヨリ78高地ヲ經テ「サギ」陣地北側敵ノ背後ヲ遮断スル如ク攻撃セシム

「アフア」―「チナベリ」道江豊川以西附近ニ約三大隊ノ敵アルモノノ如ク林田部隊ハ本部及一部ノ兵力ヲ以テ該方面ノ搜索及師団主力ノ

左側背掩護ニ任ズ

6 八月二日三宅部隊ハ残存セル戦力ヲ統合集成シ極力敵陣地ノ強行突

破ヲ企図シ歩八〇ヨリ加藤大隊（約五〇名）歩七八ヨリ川東大隊（約六十名）ヲ臨時編成シ「ハト」陣地ニ突入其後端ニ進出シ引続キ爾後ノ突破ヲ準備ス

7 四日師団ハ軍命令ニ依リ攻撃ヲ中止スルコトナレリ

五日敵ト離脱シ「アフア」南方約二軒附近ニ於テ板東川ヲ渡河シ不屈山ヲ經テ坂井川上流地区ニ出テ該地附近ニ既ニ進出セル敵ニ対シ一部ヲ以テ対セシメ主力ハ新ニ進路ヲ啓開シ敵ヲ迂回シ木浦ヲ經テ「ダシ」南側地区ニ転進シ該地附近ニ於テ所在ノ現地物資ヲ収集シツッ部隊ヲ整理シ引続キ「ブーツ」地区ニ向ヒ前進ス

六 其他

1 本作戦ニ於テ第二十師団歩七八及歩八〇ハ武功拔群ナルニ依リ感状

ヲ歩七九ハ賞詞ヲ夫々軍司令官ヨリ授与セラル

2 「ウラウ」 「ヤカムル」 及「アフア」 附近ノ戦斗ニ対シ南方軍総司令

官ヨリ褒賞激励ノ電報ヲ受領ス

3 猛号作戦開始ニ方リ軍司令官ヨリ受ケタル訓示別紙第一ノ如シ

4 師団 補充部隊ノ一部約四五〇名ハ四月上旬「アイタベ」地区ニ先

遣セラレ同地ノ警備ニ任シアリタル処配備未ダ十分ナラザルニ於テ四

月二十二日敵ノ上陸ヲ受ケ約三日間抵抗ノ後「チナベリ」 「アフア」

附近ヲ経テ五月十七日（安部大尉以下約一六〇名）及二十日（松田大

尉以下約七五名）夫々「ダンダヤ」附近ニ到着シ師団主力ニ合セリ

5 猛号作戦戦斗経過要図（含戦力損耗状況及兵要地誌ノ概要）

附図第四ノ如シ

別紙第一

猛号作戰本格的攻撃開始ニ方リ七月五日全軍將兵ニ与ヘタル

軍司令官ノ訓示

軍ハ今ヤ猛号作戰攻撃各部隊ヲ「ヤカムル」周辺地区ニ集結シ將ニ本格的攻撃ヲ開始セントス

惟フニ各地区戦局愈々重大化シ目下西部「ニューギニヤ」「サルミ」及「ピアク」島方面竝中部太平洋「サイパン」島方面ニ於テ兩軍主力ノ決戦ヲ惹起シアリ且本土ノ一部モ空襲ヲ受ケアル状況ニシテ形勢必ズシモ逆睹シ難キモノアリ

本戦従来ノ決心ノ如ク「ホルランジャ」ノ奪回ニ依リ「ニューギニヤ」方面ニ於ケル戦勢ヲ一挙ニ打開スル方針ハ今遽カニ望ミ難ク軍ハ茲ニ東部「ニューギニヤ」ニ於テ絶対不退転ノ境地ニ対処セザルベカラサル状況ニ立至レリ

本戦ハ深く信愛スル全將兵ノ心事ヲ思ヒ断腸痛心是殊ノ外ナラズ

然レトモ静カニ国史ヲ思ヒ又現在ニ於ケル他方面ノ状況ヲ觀ルニ遠征ノ軍ニシテ斯クノ如キ状況ニ遭逢スルコト敢テ稀ナリトセズ

本職ハ茲ニ先訓ヲ思ヒ更ニ不屈ノ信念ヲ振起シ全軍相率キテ皇軍独特ノ本領發揮ニ邁進シ以テ告示ノ所期ニ副ハンコトヲ期ス

而シテ其道タルヤ優勢ナル火力ノ確保持久ト敵戦力破摧ニ存スルト雖モ国軍全般ノ実情ヲ案スルニ戦略戦術的ニ解決スベキ合理的萬全ノ方策ヲ求メ得ズ

本職ハ此ノ難局ニ処スル方策ヲ皇軍多年ノ鍛鍊ニ係ル軍人精神ノ教フル道ニ索メントス

今ヤ敵ハ正ニ「アイタベ」附近ニ我ニ好餌ヲ呈シアリ是天祐ニシテ軍ノ有スル戦力ヲ最モ有効ニ發揮シ敵戦力ヲ撃滅シ得ヘキ絶好最後の機会ナリ若シ我当初ヨリ持久ヲ主トセンカ終ニ保有戦力ヲ發揮シ得ズシテ悔ヲ千載ニ遺スニ至ランコト必セリ持久ノ如キハ猛号作戰（四語不明）タランノミ況ンヤ西部「ニニーギニヤ」ニ於テ皇軍主力ノ死闘

シアル現下急迫セル戦況ニ於テオヤ即チ本職愈々意志ヲ鞏固ニシ全軍
渾身ノ力ヲ此ノ際一挙ニ凝集シ「アイタペ」附近ノ敵ニ対シ徹底的の攻
撃ヲ加ヘ之ヲ撃滅シ軍ノ収ムル戦果ニ依リ全軍ノ志氣ヲ作興シ且西部
「ニューギニヤ」ニ於ケル友軍ノ健斗ニ応ヘテ急迫セル戦況ニ策応シ
以テ皇軍ノ真価ヲ発揚セントス

之今次猛号作戰ノ終極的意義ニシテ本職ハ誓ツテ達成セントスル宿志
アリ真ニ全軍畢生会心一物ト雖モ余ス所ナク後日悔ナキ戦斗ヲ敢行ス
ルヲ要ス

夫レ必勝ハ各人夫々其ノ任務ニ渾身ノ努力ヲ捧ゲ之ニ殉ズルニ於テ初
メテ獲得シ得ベシ

皇国ノ彌栄ハ各人夫々皇国ノ危急ニ殉ジ

上ハ戦局ノ推移ト軍ノ働キニ垂レ賜ハル無限ノ聖慮ヲ安ンジ奉リ下ハ
股肱ノ分ヲ全クシ悔ヲ千載ニ遺サザルコトニ於テ遺憾ナカラシムコトヲ
期スベシ

右
訓
示
ス

(註
電
文
転
載
)

其六 「アレキサンダー」山系地区ノ戦斗

一 全般ノ状況

1 軍ハ猛号作戰終了後「ウエワク」及「ブーツ」地区ノ間ニ激撃決戦

態勢ヲ構成スルニ決ス

其作戰計画ノ概要左ノ如シ

(一) 作戰ノ目的ハ「ウエワク」及「ブーツ」周辺要域ノ確保及同地ヲ

基盤トスル敵戦力ノ撃碎ニ指向ス

即チ東部「ニューギニヤ」ニ於テ全般ノ作戰ヲ容易ナラシムルノ道

ハ目下保持シアル「ウエワク」及「ブーツ」地区ノ要域ヲ確保持久

シテ敵来攻セバ玉碎以テ之ニ可及的大打撃ヲ与フルニ存シ此ノ場合

持久ハ第二義トセザルベカラサルモノト判断シアリ

(二) 作戰指導方針

(1) 軍ハ猛号作戰ヲ適時打切り神速ニ「ウエワク」及「ブーツ」周

辺地区ニ兵力ヲ集結シテ邀撃決戦態勢ヲ整ヘ来攻スル敵ヲ撃滅ス

- 遼撃決戦態勢ノ核心ハ敵ノ最モ欲スベキ「ウエワク」及「ブーツ」
 飛行場群竝ニ「カイリル」「ムツシユ」島ニ保有シ陸正面ノ第一
 線ハ「セビツク」下流「プロレス」ヨリ「アレキサンドー」山系
 南側「マグリツク」附近ヲ經テ「マルジツプ」附近ニ亘ル線トス
 (2) 軍保有後方戦力ノ状況ニ鑑ミ特ニ之カ保全活用ニ遺憾ナカラシ
 ムルト共ニ現地自活ニ努メ以テ遼撃戦力ノ維持増強ヲ図ル
 (3) 作戦ノ終始ヲ通シ皇軍ノ本領發揮ニ遺憾ナカラシム
 (三) 指導要領ノ概要
 (1) 各兵团作戦地域ノ概要
 (イ) 第五十一師団 「パス」岬「チンブンケ」ノ線以東
 (ロ) 第二十師団 51Dト41Dノ中間地区
 (ハ) 第四十一師団 「ソナム」河「マグリツク」西方約二十軒
 ノ地点以西
 (ニ) 海軍 「カイリル」「ムツシユ」「カラサイ」諸

島（陸軍ノ一部ヲ属ス）

(2) 第二十師団ノ確保及邀撃ノ重点ヲ「ブーツ」兩飛行場附近ニ保持ス

山南陸正面ノ敵ニ対シ「マグリツク」「ブルイ」地方ヲ確保ス

2 第四十一師団ハ坂東川附近ノ戰鬥終了後主力ヲ以テ「マルジツブ」

附近ニ於テ西方陸正面ノ敵ニ対シ邀撃ニ任ジ一部ヲ「アレキサнда」

南側地区ニ配置シテ左側背ヲ掩護スルノ態勢ニ移行シツツアリ

坂東川方面ヨリスル敵ノ追蹙圧迫ハ大ナルモノナシ

3 師団ノ主力ハ八月中旬末頃迄ニ逐次「ブーツ」附近ニ集結中ニシテ

輜重隊及衛生隊及防給ハ「マルジツブ」附近ノ患者ヲ担送シ「バラム」

附近ニ收容中ナリ

4 「ブーツ」地区附近ニ在リタル航空関係部隊ハ師団ノ戦力強化改編

ノ為師団ノ指揮下ニ入ラシメラル

5 坂東川作戰終了ト共ニ糧秣ノ補給杜絶シ現地物資ニ依存スルコトト

ナレリ

師団將兵ノ体力ハ著シク低減シ被服裝具ハ大部損廢ノ状況ニ在リ

6

「ウエワク」及「ブーツ」地区ノ間ニ邀撃決戦態勢ヘノ移行ニ當リ
猛部隊長ヨリ隸下指揮下部隊ニ与ヘラレタル訓示要旨左ノ如シ

(一) 速カニ統率ヲ確立シ之ガ嚴肅ナル承行ノ下ニ軍紀ノ緊肅ト鞏固ナル
ル團結ノ結成ヲ図ルベシ

(二) 戦友愛ヲ昂揚シ相互扶助ノ美シキ成果ヲ收ムルニ努ムルト共ニ各
人ノ修養ニ努メシメ以テ最悪ノ場合ニ於テ皇軍軍人ノ本領發揮ニ遺
憾ナカラシムベシ

(三) 飽ク迄戦斗ヲ以テ根基トシ敵戦力ノ殲碎ニ邁進スベシ

(四) 装備軍需品ノ保全活用ニ徹底スルト共ニ現地自活ノ方策ニ創意工
夫ヲ凝シ以テ邀撃戦力ノ維持増強ヲ図ルベシ

之ヲ要スルニ今後ニ於ケル状況ハ愈々深刻化スベシ諸官ハ常ニ宜シク
任務ヲ明確ニシ最悪ノ状況ニ於ケル進退ヲ基礎トシテ諸施策ヲ決定シ

挙軍一体不屈ノ信念ヲ以テ皇軍ノ本領ヲ發揮シ以テ全般ノ作戰ヲ容易ナラシムルコトヲ期スベシ

二 邀撃及自活態勢ノ構成

1 師団ハ軍命令ニ基キ八月二十九日爾後ノ邀撃及自活態勢ヲ速カニ構成スルニ決ス

部署ノ概要左ノ如シ

(一) 方針

師団ハ主力ヲ以テ「ブーツ」
「ダグア」兩飛行場地帯及「ボイキン」地区ヲ夫々大拠点トスル邀撃配備ヲ構成シ其自活区域ヲ概ネ「アレキサンダー」山系（含ム）以北地区トス

山南地区ニハ主トシテ後方關係部隊ヲ配置シ自活態勢ヲ構成ス

(二) 配備ノ概要

(1) 「ブーツ」地区隊（長

~~P~~
801

801

47ab

~~中~~
20T
基幹）

「ブーツ」飛行場ヲ確保スル如ク概ネ兵力ノ三分ノ一ヲ以テ海岸地区ノ直接配備ヲナス「ブーツ」西南側附近高地ニ複廓陣地ヲ準備ス

(2)

「ダグア」地区隊（長 $\frac{79i}{41ab}$ 一中 $\frac{20T}{}$ 基幹）
「ダグア」飛行場ヲ確保スル如ク概ネ兵力ノ三分ノ一ヲ以テ海岸地区ノ直接配備ヲナス

(3)

十国峠（「ダグア」飛行場南側）附近ニ複廓陣地ヲ準備ス
「ボイキン」地区隊（長 $\frac{78i}{11FW}$ 一中 $\frac{20T}{}$ 基幹）
「ボイキン」棧橋附近ヲ確保スル如ク概ネ兵力ノ三分ノ一ヲ以テ海岸地区ノ直接配備ヲ為ス

(4)

「ボイキン」南側猛錦山附近ニ複廓陣地ヲ準備ス
山南地区部隊
「アレキサンダー」山系南麓ヨリ「セビツク」河ニ亘ル地区ニ展開シ専ラ自活ニ任ズルト共ニ隨時海岸地帯ノ邀撃戦斗ニ参加シ得

ル如ク準備ス

(5) 師団司令部ハ「オクナール」(朝霞山)ニ位置ス

2 「マルジツブ」附近ノ患者ノ収容後送ニ任シアリタル衛生隊ハ十月

初旬之ヲ終了シ歩七八ト交代シ「ボイキン」地区ノ邀撃ヲ担任ス

歩七八ハ山南地区ニ転移ス

海岸地区ヨリ山南地区ヘノ部隊ノ移動ハ体力減耗セルト行軍路ノ嶮難

長遠ナル為特ニ患者ノ輸送ニ相当困難ヲ極メ主力ノ所命地区到着ハ概

ネ十月末ニ及ビタリ

3 現地土民ノ宣撫工作ハ師団ニ於テ統一実施シ大酋長「カラオ」ヲ通

シ土民直接ノ行動(物資供出、農園開拓、労力奉仕等)ヲ規整セシム

土民ハ一般ニ好意ヲ有シ患者ノ部落収容労力奉仕ニ積極的ニ協力シ自

活態勢構成ニ多大ノ便益ヲ得タリ

4 山北地区ハ現地物資貧困ニシテ特ニ海岸直接警備ノ為所要兵力ヲ充

当セザルベカラザル状況ニ於テ自活ハ益々困窮シ主食タル「サゴ」澱

粉ハ日量約六〇〇瓦ヲ辛フジテ維持シ尙所在ノ鳥獸魚類、昆虫類ヲ併食シ調味品ハ主トシテ自体製塩ヲ以テ一日約一五、二〇瓦ヲ補給ス又部隊毎ニ農耕班ヲ編成シ一人当日量一坪農産物ヲ目途トシ主トシテ甘藷野菜類ノ開墾耕作ニ努メタルモ勞力不足農耕具ノ僅少種苗ノ取得困難等ニ基因シ進捗遅々タリ而シテ其ノ収獲期ハ三、四ヶ月以後ナルヲ以テ山南地区ヨリノ補給ヲ促進セルモ山南ノ取得量少ク且担送力不充分ニシテ意ノ如ク進捗セズ「マラリヤ」及栄養失調ノ為日々相当多数ノ死没者ヲ出シ部隊ノ戦力ハ逐次益々減少スル状態ナリ

三 海岸道方面「ダーツ」「ダグア」地区ノ戦斗

1 十二月初旬ヨリ「マルジツプ」附近ニ対スル敵ノ攻撃逐次本格的トナリ第四十一師団青津支隊（~~41~~IB 青津少将 2371 基幹）ハ東進スル敵ニ対シ「マルジツプ」「ゼルエン」岬「アロヘミ」瑞穂旗山附近ニ於テ夫々頑強ニ邀撃ヲ敢行シツツ持久ニ努メタルモ敵ハ主力ヲ以テ海岸道一部

ヲ以テ山地方面ヨリ逐次蚕食東進シ二月初旬概ネ「ソナム」河西方地区ニ達セルヲ以テ海岸方面ノ戦斗ヲ統一指導スル為二月十日青津支隊ハ師団ノ指揮下ニ入ル

(一) 歩八〇「ソナム」警戒隊ノ戦斗

2 三月一日頃ヨリ「ソナム」河河口海岸道右岸要地ヲ占領シアル

「ソナム」警戒隊(680135MAS)約三〇名)正面ニ敵進出シ来リ該地附近ニ對スル敵ノ哨戒及銃爆撃及砲撃ハ次第ニ盛トナル

3 五日敵約一五〇ハ砲爆撃ニ膚接シ「ソナム」河ヲ渡河右岸ニ進出ス
警戒隊ハ予メ準備セル所ニ依リ寡兵克ク優勢ナル敵ニ對シ飽ク迄陣地ヲ固守シ或ハ潜入攻撃等ニ依リ敵ノ前進ヲ妨害シ多大ノ戦果ヲ収メタルモ三月十二日遂ニ玉碎ス

(二) 「ブーツ」海岸邀撃戦斗(自三月二十六日)

4 師団ハ新ニ二一飛大(龜沢大尉以下約一〇〇名)ヲ配屬セラレタルヲ以テ山南地区ヨリ司令部附近到着ト共ニ所要ノ戦斗要領ヲ教示シ直

デニ「ブーッ」地区隊長ノ指揮下ニ入ラシム

5 「ブーッ」地区隊ハ「ブーッ」附近ノ戦斗可能人員ヲ挙ゲテ邀撃配
備ニ就キ海岸道方面ニⅡ（約四〇名）「アメリカ」道附近ニ龜沢大隊
主力（約六〇名）山地方面ニⅠ（約六〇名）ヲ以テ数線ノ小拠点陣地
ニ抛リ邀撃ヲ実施ス

6 敵ハ依然重点ヲ海岸道方面ニ指向シ十一日「リニホク」河ヲ渡河
（長以下七名¹⁰⁽¹⁾）正面ニ近迫ス ^{5/11}

十二日夕中隊長以下戦死シ遂ニ突破セラル

7 十五日宵津少将ヲシテ「ブーッ」地区隊ヲ併セ指揮セシム

8 十六日早朝来敵ハ「バラム」ニ進出セルヲ以テ守備隊反覆之ヲ撃退

セルモ十七日〇八〇〇頃ヨリ約二〇〇ノ敵ハ砲撃ニ膚接来攻シ
長以下八名）ハ全滅シ遂ニ該地ハ一三〇〇頃突破セラル ^{3/21ab}（

9 十七日夕約三〇〇ノ敵ハ海岸道ヲ一挙「ブーッ」飛行場附近ニ進出
ス

歩八〇ハ陣地線ヲ収縮シ「ブーツ」南側山地複廓陣地ニ依リ邀撃ヲ敢行ス

10 敵ハ「リニホク」河上流地区ニ対シ海岸道方面ト連繫シツツ攻撃シ来リ旧青津支隊正面ニ於テモ果敢ナル邀撃ヲ敢行シツツ逐次戦線ヲ収縮ス

11 主力ハ二十五日海岸複廓陣地ヲ撤シ「サブルマン」附近中間陣地帯ニ転進ス

(三) 「ダグア」十国峠附近ノ戦斗

12 「ダグア」地区隊ハ「ブーツ」地区ノ戦況ニ鑑ミ山系地帯ニ分散シアル兵力ヲ急遽十国峠附近ニ集結シ該地附近ノ邀撃配備ヲ強化中三月二十一日海岸道ヲ東進セル

13 敵ハ所在ノ我が監視部隊ヲ駆逐シツツ「スマイン」附近ニ進出ス
飛行場地区ニ進出セル敵ハ約二大隊ニシテ砲少クモ八門ヲ有シ逐次十国峠附近ノ複廓陣地ニ近迫シ猛烈ナル爆撃ト一日数百発ニ及ブ砲兵

集中射撃ニ膚接シ連日執拗ニ攻撃シ来リ我陣地ノ大部ハ全ク破壊セラ
レ密林変ジテ清野ト化ス又有力ナル一部ハ二十六日十国峠西方大和山
附近ヲ突破シ二十七日十国峠南側「オクナール」渡河点附近ニ進出ス
「ダグア」地区隊ハ四月二日ニ至ル迄十国峠及其西側獅子山高地ヲ確
保シ同高地守備隊（^{41ab}整中）中隊長矢野中尉以下十三名）ハ遂ニ玉碎ス
ル状況ナリシモ之ニ屈セズ戦意益々振ヒ或ハ陣前至近距離ニ敵ヲ引附
ケテ一発必中必殺或ハ敢然敵中ニ挺進潜入シテ奇襲爆破以テ敵ノ心胆
ヲ奪ヒ歩行不能ナル病兵ハ路上ニ銃ヲ執リテ決死敵ヲ射殺シ敵ノ殺傷
確認二五〇自動小銃四其他兵器弾薬多数ヲ鹵獲ス

14
「ブーッ」地区隊ハ右翼ヲ十国峠附近陣地ニ連繫スル如ク逐次主陣
地線ヲ収縮ス

15
歩兵聯隊ノ兵員ハ既往作戰後ノ体力恢復未ダ全カラズ尙指揮下部隊
ハ歩兵戦斗ノ経験十分ナラズ兵器弾薬ノ装備又僅少ニシテ而モ給養粗
悪一時後方ヨリノ補給杜絶シ現地ノ野草ヲ主食トスルカ如キ状況ナリ

シニモ拘ラス毅然トシテ陣地ヲ死守シ克ク其ノ任務ヲ全フセリ

四 山北地区複廓地帯ノ邀撃

16 四月二日一六〇〇土人ニ案内セラレタル敵約四〇名ハ我ガ配備ノ間

隙ヲ突破シ「クブレン」戦斗司令所ヲ急襲セリ

17 四月三日師団ハ複廓陣地帯ニ戦面ヲ収縮スルニ決シ「ダグア」地区

隊ヲ以テ「ハムシツク」附近「ブーツ」地区隊ヲ以テ「ウブン」附近

ノ夫々要線ヲ占領シ爾後ノ邀撃ヲ準備スル如ク部署ス

各部隊ハ逐次敵ト離脱シ所命ノ配備ニ移行セリ

18 四月中旬師団ハ「アイン」地区ノ邀撃ヲ担任スルコトナリ同地区

ニ 208 長江本大佐ノ指揮スル約一〇〇ヲ配置シ右翼ノ拠点トナシ之ニ連

繋シ複廓陣地ノ前縁ヲ「アワイン」河ノ障碍ヲ利用シテ其左岸高地線

トシ左翼ノ拠点ヲ「ウイフン」附近トシ夫々陣地ノ増強ニ努ム

19 六月上旬青津支隊ノ配属ヲ解カレタルヲ以テ歩八〇主力ヲ「ウイフ

ン」地区ニ轉移セシメ西方及西北方ニ對シ警戒セシム
山南地区ニ於テ敵ノ東進スルニ伴ヒ当方面ニハ敵性土民逐次跳梁スル
ニ至ル

五 山南地帯ノ戦斗

三宅部隊ノ戦斗

1 一月初旬「マルジツプ」附近ヲ攻略セル敵ハ同地附近ヨリ「アレキ
サンダー」山系ヲ越エ山南地区ニ進出シ別ニ山南西方地区ヨリ東進セ
ル敵ト合シ三月初旬ヨリ概ネ三縦隊トナリ第四十一師団ヲ圧迫シツツ
山系南側地区ヲ「マブリツク」附近ニ向ヒ逐次攻撃前進中ニシテ其兵
力約二五〇〇砲約十門ヲ有スルモノ如ク戦場地区ノ部落土民ハ敵側
ノ工作ニ依リ敵性行為ヲナスニ至レリ
右状況ニ鑑ミ軍ハ二月中旬新ニ三宅部隊ヲ編成シ軍直轄トナシ「マ
グ
リツク」東北方「ジャメ」附近要地ヲ根拠地帯トシテ邀撃ヲ準備セシム

三宅部隊ノ編組左ノ如シ

長 201B 三宅少将

201B 781 2/4AQ 海軍柿内部隊柳川挺進隊 5ID 80i ノ一部北本工作隊猛虎挺進隊主

力軍憲兵隊主力 ATL 一部 27 カ ノ一部 112 HFL ノ一部

2 部隊ハ三月初旬根拠地帯ノ成ル可ク前方ニ敵ヲ拒止スルニ努ムヘキ

軍命令ニ基キ行動ヲ開始シ三月中旬「ミラク」附近ニ於テ当面ノ敵ヲ

攻撃セルモ敵ノ抵抗頑強ニシテ遂ニ撃退スルヲ得ズシテ三月下旬トナ

ル

「アンパングマ」方面ニモ有力ナル敵ノ一部進出シ右側背ヲ脅威セル

ヲ以テ柳川挺身隊(約一〇〇名)ヲ派遣シテ邀撃セシム

3 四月十五日敵ハ「オウラ」ニ進入シ部隊ノ左側ヲ脅威シ引続キ「マ

ブリック」地区ヲ占領セル柿内部隊正面ニ攻撃シ来ル同隊ハ果敢奮斗

ノ後二十二日同地ヲ撤退ス

4 五月十二日敵ハ「ワイガカム」附近ニ進入セル為部隊ハ「ジャメ」

根拠地帯ヲ確保スルト共ニ該地区ノ兵力ヲ「マルンバ」地区ニ移動シ
第四十一師団トノ間隙閉塞ニ任ゼシム

5 此ノ頃軍通ノ一部（約八十名）及船工五ノ一部（約四十名）ノ配属
ヲ受ケ部隊ノ戦力約八〇〇名トナル各所ノ戦斗亦逐次熾烈化シ連日約
三〇〇発砲撃延三〇機（八〇発）ノ爆撃ヲ一拠点（約一五以下守備）
ニ受ケタルモ守兵克ク陣地ヲ死守スルノミナラズ潜入攻撃辻斬戦法ヲ
実施シ敵心胆ヲ寒カラシメタリ

6 六月一日部隊ハ新ニ「ヤミール」地区ノ防衛ヲ命ゼラレ該地附近ノ
陣地構築ニ任ジアリタル小泉部隊（長小泉大佐 20P 26A 一部 48ab 計約二〇〇）
ノ配属ヲ受ク

同方面ノ敵ハ柳川挺身隊ノ右翼ヨリ越出シ六月一日「ヤミール」西側
高地ニ進出ス

師団主力復廓地帯ノ戦斗

1 六月五日師団司令部ハ山南地区（「アリス」）ニ移転シ三宅部隊ヲ併セ指揮シ主力ヲ以テ山南地区ノ邀撃ヲ実施スルコトナル

2 「ヤミール」西側高地ニ進出セル敵ハ八日「ヤミール」陣地ノ一角ヲ急襲占領ス

該地守備部隊ハ奪回ニ努メタルモ敵ハ逐次兵力ヲ増加セル為成功セズ「マルンバ」「ウルブ」地区陣地ハ連日爆撃ト射撃トニ依リ密林清野ト化シ陣地設備殆ンド破壊セラレ正面及右翼方面ヨリ優勢ナル敵ノ執拗ナル反覆攻撃ヲ受ケ守兵克ク必死敢斗シ歩七八作業隊ハ（ヘ）陣地ニ於テ四八飛大石塚隊ヘ格小陣地ニ於テ輾重二〇永峰隊ハ「ウルブ」陣地ニ於テ夫々壮烈ナル戦斗後玉碎ス

3 当面ノ敵ハ主力ヲ以テ北「アメリカ」道ニ沿フ両側地区ヲ土民軍ヲ主体トスル一部ヲ以テ山麓平地方面ヨリ攻撃シアリ其ノ要領ハ飛砲協力ノ下優勢ナル火力ニ依リ先ヅ山地方面ノ制高点ヲ奪取シ逐次左翼ヲ進メ正攻法ヲ以テ我が陣地ヲ蚕食ス

師団ハ山北地区ノ兵力ノ大部ヲ山南ニ転用シ「カボエビス」「エバノム」「ヌンピフ」ノ各要地ヲ三大拠点トナシ前方ニ数線陣地ヲ設備シ拠点間隙ノ河谷草原ニハ夫々一部ヲ配置シテ閉塞シ概ネ八月末ヲ目途トシテ持久防禦ヲ策ス

4

歩八〇ハ一部（内山中佐以下約七〇名）ヲ「ウィフン」地区ニ残置シテ該方面ノ警備ニ任ゼシメ主力（約一〇〇名）ハ七月上旬「エバノム」附近ニ集結シ26A主方20P1FTL2FTL4FTLヲ併セ指揮シテ陣地ノ構築情報ノ収集ニ努ム

歩七九ハ一部（約四〇名）ヲ「ニブリハーヘン」附近ニ残置シテ江本大佐ノ指揮下ニ入ラシメ主力（約一〇〇名）ヲ以テ六月下旬「カボエビス」東側附近ニ集結シ該地区ニ在リタル船工五ヲ併セ指揮シ鋭意陣地ノ増強ニ努ムルト共ニ特ニ山地方面ヨリ迂回進入ヲ企図スル敵ニ対シ警戒ヲ厳ナラシム

三宅部隊ハ南「アメリカ」道ニ沿ヒ「ウルブ」「オニヤルブ」「ガレ

「ツブ」附近ノ要地ヲ占領シ敵ノ進攻ヲ阻止シタル後八月四日「アリス」
「ヌンビフ」地区ニ轉移ス

「カボエビス」拠点方面ニ於テハ七月二十日頃ヨリ右翼山腹高地田
中小隊（船工五約二〇名）正面ニ來攻シ小隊ハ数線障地ニ拠リ克ク進
攻ヲ阻止ス

「カボエビス」西南稜線道ノ障地ニ於テハ敵ハ連続強襲ヲ続行シ守兵
ノ敢斗ヲ粉碎シテ七月二十五日「イリベン」二十八日俵台三十一日大
黒山八月一日「カボエビス」障地西南端ニ進入シ至近距離ニ於テ相對
峙ス

師団ハ^{20P}林田部隊ニ増加シ障地ノ補強ヲ促進セシム

「エバノム」拠点方面ニ於テハ七月二十日頃ヨリ敵砲爆撃盛トナリ七
月二十八日ヨリ敵ハ「アイグリン」障地ニ對シ本格的攻撃ヲ開始ス
守兵ハ至近距離ニ於テ死斗ヲ続行シ伏兵潛入攻撃ニ依リ多大ノ戦果ヲ
収メタルモ八月一日遂ニ第一線ニ楔入セラレ

八月十日「エバノム」高地ヲ奪取セラル

部隊ハ「ブギ」河左岸ノ新障地ニ拠リ至近距離ニ於テ敵ト相對峙ス

「ヌンビフ」拠点方面ニ於テハ敵ハ「エバノム」台地南側ヨリ越出突

進シ「ヌンビフ」南側台地ニ進出ス該地区ノ守備ニ任シアリタル歩

七八ハ「ヌンビフ」部落高地ヲ右翼ノ軸トシ左翼ヲ三線ニ配備シ特ニ

「ブキナレ」方面^{41D}地区ヨリ迂回進入ニ対シ警戒ス

6 七月三十日「ニヤンバリ」ニ於ケル兵団長会同ニ於テ複廓障地玉砕

障地等ニ関スル作戰指導ヲ指示セラレ之ニ基キ師団ハ八月五日部隊長

会同ヲ実施シ玉砕決戦指導ニ関シ所要ノ事項ヲ指達ス

7 八月一日新タニ指揮下ニ入りタル柿内部隊ヲ以テ「ツル」山ヲ右翼

ノ拠点トシ「エンボガンジャ」「キヤリブ」附近ニ亘ル障地ヲ準備セ

シム

山北地区ニ在リタル江本部隊内山部隊ヲ山南地区ニ招致シ「アレキサ
ンダー」山系頂界線附近要地ヲ確保セシメ北方ヨリ進入ヲ企図スル敵

ニ対シ警戒セシム

「セビツク」地区ニ在リタル迫撃砲隊（塩田中尉以下約二十五名三門）ハ七月下旬先ヅ一門「アリス」ニ到着シ師団ヨリ新ニ約三十名ニ増加シ編成ヲ強化シタル後「カボエビス」地区ノ戦斗ニ参加シ敵ニ脅威ヲ与ヘタリ

齊藤義勇隊ハ七月下旬ヨリ「グルマネーブ」「イリペン」「アラカンヘット」附近ノ敵ニ対シ潜入攻撃ヲ敢行シ敵幕舎ヲ爆破シ相当ノ戦果ヲ収メタリ

8

八月七日約四〇〇ノ敵ハLD地区ノ陣地ノ間隙ヨリ挺身潜入シテ「ヤンゴール」ヲ占領シ直チニ同地ノ既設旧飛行場ヲ整備シ逐次兵力ヲ増加シ「キヤリブ」「アバール」方面ニ対シ地歩ヲ拡張ス

師団ハ司令部ヲ「モンブツク」ニ転移シ柿内部隊及齊藤義勇隊ヲ以テ「ヤンゴール」ノ敵ニ対シ潜入攻撃ヲ実施セシメ江本部隊（四八飛大ヲ含ム）ヲ以テ「フバール」「バング」附近ヲ占領シ敵ノ進入ヲ阻止

セシムルト共ニ「アリス」地区ニ在リタル三宅部隊（歩七八歩八〇基幹）ヲ「キヤリブ」地区ニ転移セシムル如ク部署ス

9 敵ノ近迫進入ニ伴ヒ戦場附近ノ土民ヲ待避セシム又一部ハ逃避シ或ハ敵性化セルヲ以テ現地物資ノ収集小部隊ノ移動ニ相当ノ不便及危険ヲ感ゼリ

「フンブングン」附近ノ土民ハ敵性強キヲ以テ七月下旬一部ヲ以テ此ノ敵ヲ掃蕩セリ

10 八月十五日敵機ノ飛来及砲撃急減セルヲ以テ師団ハ敵ト相對峙シツツ其ノ新ナル企図ニ対シ嚴重ナル警戒ヲナシアリ

11 八月十七日停戦命令ヲ受領シ承命必謹直チニ戦斗行動ヲ中止ス

12 本戦斗ハ補給絶無糧食ハ総テ土民農園及附近ノ山川ノ物資ニ依リ彈薬ハ小銃僅カニ約三十発（不発多シ）手榴彈モ有セズ

帶剣ヲ以テ硬岩地帯ニ據リ掘リ裸足ヲ以テ走駆スル等死斗ノ連続ニシテ絶対制空権ヲ確保シ火力ニ於テ格段ノ優良裝備ノ敵ニ対シ隸下指揮

下ノ別ナク真ニ渾然一体所命必遂部隊ノ甚大ナル損害ニモ拘ラズ凡ニ
ル困難ヲ克服シ最後迄攻撃精神ヲ堅持シテ戦斗ヲ遂行シ得タルハ尽忠
報國ノ至誠ノ発露ニシテ驚嘆ニ価スヘキモノナリ

六 其他

1 齊藤挺身攻撃隊ハ果次ノ戦勲ニ依リ軍司令官ヨリ感状ヲ又

歩七九及四一飛大矢野中隊ハ夫々十国峠附近ノ戦斗三宅部隊ハ山南地
区ノ戦斗ニ於ケル武功顕著ナルニ依リ賞詞ヲ授与セラル

2 輜重二〇永峰大尉高砂義勇隊船工五田中小隊四八飛大石塚中隊ハ夫々
其ノ行動他ノ範トナスニ足リ師団長ヨリ賞詞ヲ授与セラル

3 停戦時ニ於ケル各部隊ノ戦力左ノ如シ

部隊

人員

師 司
歩 司

八二
五二

計	兵	防	四	二	一	師	輜	衛	工	砲	步	步	步
	勤	給	野	野	野	通	二	生	二	二	八	七	七
			病	病	病		○	隊	○	六	○	九	八

八										一	一	一	一
九	一	二	一	三	五		八	五	三	○	一	○	二
六	六	○	八	三	三	七	五	五	一	四	三	三	四
